

令和 2 年度
日野市中央公民館の
運営の状況に関する評価書
(令和元年度事業)

市民による市民のための公民館
～地域に生きる市民の底力～

令和 2 年 9 月
日野市中央公民館

目 次

1. はじめに	1
2. 評価の目的	1
3. 公民館の現状	1
(1) 施設	1
(2) 貸室利用状況（令和元年度）	1
(3) 組織・職員	1
(4) 主な業務	2
4. 評価の実施方法	2
5. 評価の対象	2
6. 評価の結果	3
公民館運営審議会の総評	3
公民館の自己評価	4
7. 評価表	7

資料

I 公民館事業のあらまし	2 1
II 日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱	6 1
III 公民館運営審議会委員名簿（第 27 期）	6 2

参考

平成 30 年度、令和元年度講座等参加人数	6 3
-----------------------	-----

1 はじめに

平成 20 年 6 月に「社会教育法」が改正され、運営の状況に関する評価等として、「公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」とされました。また、これに先駆けて平成 15 年には、公民館の設置及び運営に関する基準において「公民館は、事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため、各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする。」とされてきたところです。

これらを受け、公民館では平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から公民館の運営状況に関する評価を実施することになりました。

2 評価の目的

この評価は、公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深めるとともに、連携及び協力の推進に資するため、そして、効果的で市民・利用者に信頼される公民館事業を推進することを目的に行います。

この目的遂行のため、公民館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとします。

そして、評価結果に基づき公民館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 公民館の現状

(1) 施設

名 称	延べ床面積	開 館 日	所 在 地
中央公民館	704 m ²	昭和 41. 7. 1	日野本町 7-5-23
中央公民館高幡台分室	953 m ²	平成 16. 4. 21	程久保 550 教育センター内

(2) 貸室利用状況（令和元年度）

名 称	部屋の名称	年間利用者数
中央公民館	実習室、ホール、視聴覚室、小会議室、講座室 A・B、調理実習室、保育室	37,924 人
中央公民館高幡台分室	講座室 1～6、実習室、和室	26,033 人

(3) 組織・職員 ※令和 2 年 3 月 31 日現在

2 係（管理係・事業係）

正規職員 7 人

再任用職員 1 人

臨時職員 1 人

嘱託職員（コミュニティワーカー） 1 人

（４）主な業務

- ・ 公民館運営全般
- ・ 公民館活動（成人・高齢者・青少年対象の講座等）の企画運営
- ・ 公民館関係資料の収集、保存及び作成
- ・ 公民館施設の貸し出し管理等

4 評価の実施方法

評価を行うにあたっては、社会教育法で設置が謳われている公民館長の諮問機関である第 27 期公民館運営審議会委員の意見を伺いながら行いました。本評価は施策評価であるため、事業別の評価資料を作成した上で、それに基づき公民館運営審議会委員に課題・問題点と評価の提起をいただき、評価を総括いたしました。

5 評価の対象

評価の対象は、「令和元年度中央公民館基本方針」にある基本施策 10 項目及び重点施策 4 項目を対象といたしました。

（１）基本方針

公民館を日野市民にとって自由で民主的な学びの場として機能させるために諸条件の整備・充実をすすめる。

市民がまなびの主体であると同時に、まなびを作り広げる主体として、公民館事業に生き生きと参加・参画できるように、各種事業を企画・運営し、情報提供や相談業務などの充実を目指す。

（２）基本施策

- ① 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。
- ② 誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。
- ③ 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。
- ④ 自然との共生・人間相互の共生を図るような事業を展開する。
- ⑤ 安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。
- ⑥ 日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。
- ⑦ 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。

- ⑧憲法や平和・民主主義を地域に活かせるような事業の展開を図る。
- ⑨地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進するような事業を展開する。
- ⑩地域や市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する。

(3) 重点施策

- ①地域に根付いた学習活動の充実
 - ・地域偏在の解消と地域の特色を活かした公民館事業の検討
- ②子ども、若者を対象とした事業の拡充
 - ・学びや体験の機会の提供
 - ・大学連携による学びの場の創造
- ③談話室を活かした情報発信のしくみづくり
 - ・新しいことが生まれるみんなの居場所
 - ・「人と人を結ぶもう一つの学び舎」をコンセプトに、高幡台分室の環境整備
- ④第2次公民館基本構想・基本計画策定に向けて

6 評価の結果

《公民館運営審議会からの総評》

基本施策10項目及び重点事業4項目についての公民館運営審議会からの意見は、各「評価表」にまとめている。

令和元年度の中央公民館事業については、全体的に各関係機関などとの連携を重視した取り組みに注力されており、今後の公民館の持続可能性を考えるうえにおいて、次世代につなげていく学びを柱にした事業の展開が図られている。

- ① 新たな視点として、公民館登録サークルの会員が講師役を努め、学習した知識を他者に還元するという、学びのサイクルを生み出している。また、市民が企画運営し、市内商店連合会等との連携を図りながら、子どもを対象にビジネススクール事業が展開された。
- ② 自然に向き合うことは、子どもたちに原体験の機会をつくり、そのことが生涯学習の基礎をつくっていくと考えられる。また、市内学生が講師を担当するなど、地域と大学の連携や市民と学生の関わりを公民館がコーディネートしている点は高く評価したい。
- ③ 昨今、自然災害が多発する中において、災害に対する備えの重要性が再認識されるなかで、公民館には防災の学びを生み出す役割が期待される。
- ④ 平和学習と憲法学習は公民館の学習の基礎であり、今後も継続していただきたい。
- ⑤ 新しい文化を育むには、自地域の文化を再評価するとともに、他地域の文化と交流させることが重要となる。日野市をふる里として思い、生活していけるような、

地域の伝統と文化の理解を深められると良い。

公民館は、市民一人一人が抱えている暮らしの悩みや地域の課題について、それらを学習課題として捉え、どのように学習し、解決していくのかを互いに学びあいながら仲間と共有する学習施設である。公民館で学んだ一人一人が社会教育の種を地域に持ち帰り、地域に学びの種を撒く。その種が芽吹くことで今を生きる市民はもちろん、未来の市民に学びが伝播する。公民館が地域に学びの種を届けることで、多様性に満ちた学びの森が繁茂していくことに期待したい。

《公民館の自己評価》

令和元年度中央公民館事業は、基本施策 10 項目及び重点施策 4 項目を踏まえ、事業数として 111 事業（コロナにより中止したものも含め）を展開した。

公民館主催事業の参加人数は延べ 21,327 人、中央公民館施設利用者数延べ 37,924 人、高幡台分室施設利用者延べ 26,033 人となり、年間で延べ 85,284 人が公民館事業に関わったという結果となった。令和 2 年 2 月末以降は、コロナウイルス感染拡大防止対策のため、急遽、公民館事業を中止せざる負えない状況となり、サークルへの貸室利用の自粛を促したため、昨年度を下回る実績数値となった。

令和元年度の特徴的な事業として

- ① 地域の人材・拠点等の地域資源を活用した身近な学びの場の創出
- ② 公民館サークルが主体となり、講座を企画、運営する機会の創出
- ③ 公民館講座からのサークルの立ち上げ

この 3 つをあげておきたい。これらの事業は、公民館職員によるコーディネート力、企画力、さらに、地域人材とのつながりを深め、新しい学びのカタチを追究した成果となった。日野市の公民館らしさを生かした、独自性のある企画を創出することができた。今後も継続性を持たせて展開をしていく。

【参考】「公民館事業のあらまし」P21～P52 より一部紹介

- ①P31 「日野レッドドルフィンズ×実践女子大学×中央公民館
トップリーグを応援しよう」
- P37 「季節を楽しむ和の行事 春・夏・秋・冬」
- ②P27 「ほっと手づくりママ時間」
- P28 「陶芸講座 はじめてのやきものづくり」
- P28 「切り絵体験入門」
- ③P26 「着物の帯地でつくるお雛様」
- P26 「素敵に花を生けよう」

令和元年度の公民館運営の方針として「**地域に学びの種をまきましよう**」「**地域に交流の種をまきましよう**」をコンセプトに事業を組み立て、公民館の目指す方向性を職員間で共有しながら事業展開を図った。以下は重点的に取り組んだ事業の評価である。

①地域に根付いた学習活動の充実

「地域に学びの種をまきましょう」をコンセプトに昨年度より、市内各地域の特性と課題を踏まえた事業を公民館から地域に発信・展開し、新しい学びの場としての「学びのアウトリーチ事業」に取り組んだ。市内中学校校区ごとに担当職員を割り当て地域に飛び出し、地域で活躍する市民等の協力のもと、地域の実情や課題などを踏まえた事業を展開した。

その結果、公民館未利用者を含め、公民館まで足を運ぶことが難しい方たちが身近な場所で学べると言った声が聞こえてきた。今後も、市民に寄り添うアプローチでつながり、アウトリーチ事業の充実を図っていきたい。

②公民館における利用者交流のあり方

平成31年3月に「公民館の利用者交流のあり方について」を公民館運営審議会より答申を受けている。

【答申の柱】

- ◆ゆるやかにつながる機会と場の拡充
- ◆つながることで学びが深まる仕組みの整備

取り組んだ事例として、公民館登録サークル会員が講師になる講座事業を実施して、新たな仲間づくりに結び付けることができた。

また、子ども将棋サロン・囲碁サロンの運営を将棋・囲碁サークルが主体となって実施する仕組みづくりができた。高齢者と子どもが同じ目的、同じ場所に集うことは、多世代交流の成果事例となった。

また、答申の柱を具現化するために、サークル同士の意見交流の場「サークル連絡会」を令和元年6月と令和2年1月に2回ずつ開催した。職員と異種サークルが1つのテーマで情報交換やアイデアを出し合いながら、これからの公民館活動への前向きな意見と市民ニーズを得ることができた。

③子ども、若者を対象とした事業の拡充

ひの市民大学では、市民企画運営会議に「若者・子育て部会」を新設し、若者・子どもを対象にした学びあいの場の企画運営に注力することになった。今後、安定的な運営を目指していきたい。

3年目となった帝京大学丹間ゼミとの大学連携については、公民館をフィールドに、学生たちが公民館事業へ参加し、利用者との対話をおこない、冊子「あなたを彩る地域の輪～公民館からはじまる・ひろがる」を制作した。大学と若者、市民をつなぐツールが完成した。また、実践女子大学、須賀ゼミの学生による地域活性化ツール「アートかるた」第2弾制作講座や、日野レッドドルフィンズ講座（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）を企画し、若い世代のアイデアを取込むことができた。

④第2次日野市公民館基本構想・基本計画策定

《基本理念》

市民の暮らしに寄り添いながら 市民のつながりの中に”学び“を生み出す

基本目標1

豊かな暮らしをつくる「学び」を生み出す

基本目標2

「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ

基本目標3

世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す

第2次計画書は、市民が手に取って読んでみようという動機付けとして、デザインや構成にこだわって作成をした。市民の生活をより豊かに、「新しい学び」を生み出し、支援することを、基本目標1、2、3で示した。そして、公民館がやるべき施策を5年間のロードマップとして視覚化した。

行政が策定した計画ではあるが、公民館未利用者でも身近に感じてもらえる「基本構想・基本計画」として完成することができ、話題性のある冊子として公開することができた。今後は、中央公民館は、このロードマップに沿った施策展開を計画的に進めていくことで、基本理念を踏まえた公民館運営を図っていく。

令和元年度において、第1次日野市公民館基本構想・基本計画における10年間の計画期間が終了した。基本理念である「市民による市民のための公民館～地域に生きる市民の底力～」を踏まえ、公民館が市民とともに作り上げてきた民主主義の理念を今後も継続しつつ、一人一人がつながりながら、学ぶことでより豊かな暮らしを実現できる「新しい学びのカタチ」を創り上げていきたい。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表					
事業項目	基本施策(1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。				
事業の概要					
1【目的】 すべての人が学ぶことの楽しさ、集うことのすばらしさを実感するための事業を展開する。	経費	【謝礼】462,000円 【委託料】1,203,756円 【合計】1,665,756円			
2【令和元年度（平成30年）の運営評価のポイント】 (1) 公運審より ○講座会場の地域的な平準化が必要である。 ○同じ講座を対象年齢や開催場所を変えるなどを行い、新たなニーズに 応えてほしい。 ○アクティブ・ラーニング等の新たな学びで、小中学生が猝にとらわれな い体験をできるようにしてほしい。 ○「ゆる・カフェ・時間」などの居場所事業継続は評価できる。	延べ参加人数	【講座等】1,561人 ・第32回公民館まつり：3,000人 ・第23回アートフェスティバル：5,700人 ・第15回分室まつり：500人 ・総計：10,761人 【内訳：成人事業9、高齢者事業1、青少年事業3、ひの市民大学5、その他3 ※全21事業】			
(2) 課題 ・夜間の講座開催、開催会場の平準化が不十分 ・新たな利用者層を広げるための講座テーマ・事業運営などの工夫が必要					
事業の成果					
・公民館を知ってもらい、利用してもらうための「公民館まつり」「高幡台分室まつり」「アートフェスティバル」を継続して実施している。 ・中央公民館の談話室活動「ゆる・時間・カフェ」、将棋・囲碁を活用した子どもの居場所づくり、高幡台分室の高齢者事業「ばそこんくらぶ」等の居場所づくり事業は定期的に行い、様々な世代がゆるやかに参加できる「居場所」を提供している。 ・各中学校区でアウトリーチ事業を市内で実施し、講座会場の地域的な平準化を試みた。地域包括支援センター等との連携や地区センター等の活用が実現し、公民館事業の可能性が広がった。					
公民館運営審議会の意見					
・誰もが参加しやすく、公民館活動を体験できるフェスティバル事業を継続して実施していることは大変評価できる。 ・学びのモデル事業として、公民館が市内の各施設に出向き、活動拠点を構築したことや市内の各関係機関等との連携したことは大いに評価できる。 ・各事業報告書も「評価内容」と「課題」を報告だけで終わらずに、公民館で十分に議論をして、市民の学びを豊かにする具体的施策へとつなげていってほしい。					
事業の課題と改善策					
・第2次基本構想・基本計画では、これからの公民館像は市民に寄り添い、「学び」に集う人々を地域や社会につないでいくことが示されている。そのために、地域の実情などをリサーチして、事務局で検証、企画する体制を整えることが課題である。 ・その中で人が集まりつながっていけるフェスティバル事業は今後も創意工夫を重ねながら発展させていく必要がある。 ・中学生が体験的に地域課題を解決するように「クラウドファンディング講座」を企画したが、参加者が集まらなかった。若者が参加しやすい事業の組み立て・PR研究が課題である。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(2) 誰もがともに生き学ぶあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。				
事業の概要					
1【目的】 多文化共生、障害者と健常者の交流、世代間交流、男女平等参画社会の推進を図ることができることを目的とする。	経費	【謝礼】 332,000円 【委託料】 4,516,360円 【合計】 4,848,360円			
2【令和元年度（平成30年）の運営評価のポイント】 （1）公運審より ○障がい者・外国人と市民の交流講座をもっと増やしてほしい。 ○高幡台分室の世代間交流事業を増やしてほしい。 ○中高年のひきこもり・親の子どもへのいじめ等も重要な課題なので、学ぶ機会を充実させてほしい。 ○LGBT入門講座等は有意義だが、PRにもっと工夫を。 ○障がい者理解講座での中学校ボランティア部等との連携は重要な成果。	延べ参加人数	【講座等】 637人 【委託業務】 4,788人 【合計】 5,425人 【内訳：成人事業11、ひの市民大学2、その他1、委託事業2全16事業】			
（2）課題 ・市外も含めた様々な団体等との連携を。 ・SNS等の有効活用等のPRを工夫し、講座等への参加の敷居を低くする。					
事業の成果					
・誰一人取り残されずに学びあうための「青年学級・成人学級」、「少年学級」の各委託事業、及び「外国人のための日本語教室」の委託事業は、相互理解しながらをつなぐことへを実践する場として定着している。いずれもボランティアの運営協力が欠かせない。しかし、他の公民館事業と連携させるような新しい風を入れる工夫はしなければいけない。 ・「日野国際友好くらぶ」への委託による国際理解講座は、オリンピックへの機運を高めるため、日野市がホストタウンになった「ウクライナ国」を学ぶ講座を行い、フットワークの良さを見せた。 ・生け花、料理、パン作りの講座では、ゆるやかに他の参加者への関心が向けられるような工夫を施し、サークル化を実現したものもあった。 ・現代社会の課題「生きづらさ」をテーマに講座を実施した。集客についてはさらに市民の関心を得るために、PR等を工夫していきたい。					
公民館運営審議会の意見					
・生活の多様化に伴い、市民の数だけライフスタイルがある現代では、お互いに理解し合い、認め合うことの積み重ねが、より良い社会を構築していく手段である。 ・公民館は、子育て中の母親、社会との関わりに悩む若者などが交流し、互いに理解し合える環境をあらゆる市民を巻き込みながら構築してい必要がある。 ・LGBT講座等も継続し、市民の交流が促進する講座の在り方を検討してほしい。 ・市民ニーズに応じて企画内容が構成されていて、全体的に素晴らしい取り組みであると評価できる。					
事業の課題と改善策					
・参加者の相互の立場を理解し共有できる環境を作り、「集う、学ぶ、結ぶ」の循環を生み出しながら、市民の共助の基盤をつくっていく事業展開が急務である。 ・LGBTに関する講座も4年間も継続しており、今後も市民の間に学びを広げていく必要がある。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表					
事業項目	基本施策(3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。				
事業の概要					
1【目的】 健康志向の高まりの気運を受け、食育、運動など心身の両面で健やかに生きる上で役立つ事業を展開することを目的とする。	経費	【謝礼】 324,000円			
2【令和元年度（平成30年）の運営評価のポイント】 (1) 公運審より ○認知症人口の増加を受けて、高齢者の健康講座をもっと増やしてほしい。 ○「つながり」により「健やかに生きる」企画をしてほしい ○現役世代の健康をテーマにして、若い世代を集める工夫をしてはどうか。 ○福祉部局との連携を進めてほしい。 ○「食育」講座としての「ひのっ子シェフコンテスト」は、その後のフォローをしてほしい。	延べ参加人数	【講座等】 1,114人 【内訳：成人事業4、高齢者事業4、青少年事業4、ひの市民大学4 全16事業】			
(2)【課題】 世代ごとに「健やかに生きる」ための方法・関心が違う。開催時間・会場等を参加者の立場に立って企画してほしい。					
事業の成果					
・「健やかに生きる」という視点から、高齢者自身が考える高齢者事業企画運営委員会により、高齢者の暮らしの心構えを充実させるアーユルヴェーダ（古代インドの生活健康法）、脳トレ、快適な入浴入浴法、事業を実施できた。 ・第一中学校と連携して中学生のメンタルヘルズ講座を実施。また、市民団体等と協働して、子どもにおにぎり、おやつを提供してもらう「おむすびキッチン」、子どもがアート制作体験を通して、心身ともに開放できる講座等を行った。 ・子育て世代向け「アンガーマネジメント講座」を実施した。ニーズが高まると思われるので、今後講座数を増やしていきたい。					
公民館運営審議会の意見					
・市民が前向きになることができる事業が多く評価できる。今後、講座内容を洗練させ、継続的に「学び」の面から市民の心身を支えていくことを重視して欲しい。 ・公民館が子どもたちの地域の居場所として定着していくことに期待したい。 ・現在、コロナ禍で孤立している人、疎外されている人が増えている。「アンガーマネジメント講座」は今一番求められている大事な取組みなので、市民の感情を把握して継続して行ってほしい。					
事業の課題と改善策					
・市民の事業参加へのモチベーションは高いと思われるが「コロナ禍」のため状況が一変している。今後、どのような学びの事業が市民の「健やかさ」の維持に効果的かを考察しながら、各地域で展開できるように検討していく。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表					
事業項目	基本施策(4) 自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開する。				
事業の概要					
1【目的】 循環型社会、持続可能な社会の形成を意図した事業を展開することを目的とする。	経費	【謝礼】72,500円 【委託料】324,000円 【合計】396,500円			
2【令和元年度（平成30年）の運営評価のポイント】 （1）公運審より ○伝統食「味噌作り講座」は継続すべき。 ○学校の授業でも取り上げられるように、学校等との連携を図るべき。 ○「多摩動物公園シリーズ」は人気も高く、評価できる。 ○「田んぼの学校」会場ごとの課題を把握して発展させてほしい。 ○講座等に参加した親のニーズ・子育て観の変化等を把握できるとよい。	延べ参加人数	【講座等】265人 【委託業務】601人 【合計】866人 【内訳：成人事業3、高齢者事業1、青少年事業3、ひの市民大学1、委託事業2 全10事業】			
（2）【課題】 地域の自然に親しむプログラムは、子どもから大人まで自然との共生を学べる。この施策を充実させるために公民館が地域の人材・資源などを日ごろより把握する力、有機的につなげる力を高める必要がある。					
事業の成果					
・コスミックフロント、トレッキング、リサイクルさき織り体験など、自然と人間との共生について考える機会を提供できた。 ・日野自動車株式会社等の企業との協働により、子どものための環境保護講座を実施できた。 ・「食育」を目的とした「第13回ひのっ子シェフコンテスト」は市内小中学校生徒から多数の応募を受け付け実施。 ・都市計画課、緑と清流課都市、農業振興課と協働し七生中地区に「田んぼの学校 南平会場」を新設。 ・今年度より、ひの市民大学事業の大学連携コースに明星大学連携事業を新設。宇宙や気象についての最先端の研究成果等のアカデミックな学びを創ることができた。					
公民館運営審議会の意見					
・自然に向き合うことは、子どもたちに原体験の機会をつくり、生涯学習の基礎をつくっていく。 ・青少年が対象の場合、学校の休業期間を活用したり、生活科・理科・総合的な学習等との連携をしてほしい。 ・ものづくり講座等は、同じ内容を市内の各地域に出向くことで、多くの子ども達に参加できるだろう。子どもと多世代の交流も1回だけの出会いではなく、将来的にホストになれるような企画を創っていくべきである。子どもの人生に組み込まれるような事業を、学校のカリキュラムとの組み合わせを考えていけないか。「クラウドファンディング講座」も子どもの中に必然性がないと参加しない。カリキュラムに組込むことで、子どもたちの中に必然性が生まれるかもしれない。 ・明星大学との連携事業は、自然、気象、宇宙と人間との共生を図る基礎知識の修得のために有意義である。地域と大学、市民と学生の連携を公民館がコーディネートしている点は高く評価したい。					
事業の課題と改善策					
・各地域に出向き、同事業を、全市的に水平展開するような方法は検討に値する課題である。 ・子どもが、自分と社会との関係を意識するきっかけづくりを行う事業を検討することが課題である。子どもたちが今年は“参加者”だったが、来年は“支援者”になる改善となる仕掛けを施せば、おのずと、子ども達の意識は社会参加に向かうものと思われる。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表					
事業項目	基本施策(5) 安心できる日野市・安全な社会を旨とした事業を展開する。				
事業の概要					
1【目的】 安全で安心できる街づくりを意図した事業を展開することを目的とする。	経費	【謝礼】75,000円 【委託料】327,000円 【合計】402,000円			
2【令和元年度（平成30年）の運営評価のポイント】 (1) 公運審より ○東京都発行「東京防災」を教材にした講座 ○同一内容で複数の地域を会場に出張公民館を ○防災に関する講座は小中大学との連携を推進すべき ○自治会等の地縁組織と連携して、自助・共助・互助の意識醸成をこうした講座を通して進めて、関心のない人をいかに巻き込んでいくかを検討してほしい	延べ参加人数	【講座等】159人 【委託業務】400人 【合計】559人 【内訳：成人事業2、高齢者事業3、ひの市民大学3、委託事業1全9事業】			
(2)【課題】 地域の安全・安心は市民の関心が高い。自治会・老人会・学校等とも連携し、市内複数会場での実施を検討していく					
事業の成果					
・安心安全なまちづくりを考える機会として、震災・防災や高齢者詐欺、非常食体験事業等の興味深い事業が並んだ。市内に多摩川と浅川を有する日野市では、非常に有効である。河川の氾濫などによる水害に特化した講座を防災安全課と協働して実施予定であった（新型コロナウイルス感染症対策のため延期）。また、浅川を活用し自然を楽しみながら、防災について考える講座を実施した。 ・日野市消費生活センター・防災安全課と協働して講座も「オレオレ詐欺」が多い日野市では市民ニーズが高い。来年度も継続していく。					
公民館運営審議会の意見					
・昨年度は台風15号と19号の襲来を受けて、災害に対する備えの重要性が再認識された。地域の土地条件などを学ぶことも大切であり、昨年の浅川浸水の被害状況を知れば、避難所の「3密」も避けられるだろう。自治会に入っていない人も多いので、防災知識を広めていく公民館事業は大切である。 ・南海トラフ地震、首都直下型地震などの総合的な災害対応の講座その際に役立つであろうスマホ講座も含めてを各地域でもっと開催すべきである。 ・今後も、生活に直接役立つ実用的な企画を中心に開催を望む。また、コロナ禍のため、やむなく中止になった高齢者詐欺講座等も是非再開してほしい。					
事業の課題と改善策					
・近年、多様な災害に見舞われる中で、各災害の基礎知識、避難対応などを啓蒙する事業の重要性が増していると考ええる。 ・公民館は様々なテーマに紐づけられるキーステーションになれる。単発事業でなく、一年を通して防災テーマを語るプログラムや年度をまたぐ事業展開も検討していく。 防災等を直接のアプローチでなく、気が付いたら防災を学んでいたというような「間接的なアプローチ」もキーワードの一つだと考えていく。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表					
事業項目	基本施策(6) 日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。				
事業の概要					
1【目的】 自分の住んでいるまちを「ふる里」と呼べるようなまちづくりをめざした事業を展開することを目的とする。	経費	【謝礼】159,000円			
2【令和元年度（平成30年）の運営評価のポイント】 (1) 公運審より ○1課3館事業のように、日野市を「ふるさと」と意識してもらうように、関係課と協力した講座を企画してほしい。 ○若者の関心を集めるため「日野の知られざる歴史」をテーマにした講座等をやってみてはどうか。 ○地区センター等を利用し、地域の伝統・文化を調査・作成することで、地域住民のつながりづくりにつなげる講座等を行ってはどうか。	延べ参加人数	【講座等】477人 【内訳：成人事業7、青少年事業1、ひの市民大学2、全10事業】			
(2)【課題】 地域の人材を講師になってもらい、地域の歴史や文化にふれられる事業を、他団体等と連携して、日野の魅力を再発見し、次世代に伝える取組みに注力する。					
事業の成果					
・教育センター発行の冊子「歩こう調べようふるさと七生」を活用し、七生地区の歴史や自然を学び伝承する事業を、1課3館で取り組んだ。 ・世代を超えて語り継ぐ日本の四季を味わう事業は、家族の絆、地域愛を育む事業となった。「あけましておめでとう講座」は、田んぼの学校実行委員会と協働し、新しい可能性を示すことができた。					
公民館運営審議会の意見					
・「歩こう・調べよう・ふるさと七生講座」は、教材を生かしながら、市民が七生地区を実感できた講座として評価できる。教材化のプロセス自体が地域の学びであるし、仕上がった教材からも地域の学びが続いていくという「学びの伝播・循環」が期待できる事業である。 ・ひの市民大学で、リトルマガジン発行や動画制作講座を試みて欲しい。体験学習の記録は日野市民の財産となり、学校教育との接点も増えていくだろう。学校行事を視野に入れば、もっと幅広い年齢層に参加してもらえるので検討してほしい。 ・地域に住み、地元詳しい人は多い。「地元は面白い」ということをもっと知ってほしい。「働き方改革」から、若い人が地域活動に参加する機会が増えるかもしれない。コロナ禍は、郷土愛醸成のチャンスでもある。うまく取込んでほしい。					
事業の課題と改善策					
・先人達が育んだ「ふるさと日野」を絶やさぬよう、関係各課との連携は不可欠である。社会の変動を見据えながら、学校教育や様々な地域の関係機関との協働し、市民の財産となるような事業を継続できるよう検討していく。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表					
事業項目	基本施策(7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。				
事業の概要					
1【目的】 地域に生きる市民の文化を、自ら発信できるような意識・気運を醸成することを目的とする。	経費	【謝礼】411,000円			
2【令和元年度（平成30年）の運営評価のポイント】 （1）公運審より ○公民館では気楽に楽しめる芸術等の事業を実施していったほしい。 ○持続可能なまちづくりに貢献する新しい文化を育む事業を展開していったほしい。	延べ参加人数	【講座等】1,293人 【内訳：成人事業2、バラエティサロン4、映画会6、ひの市民大学1、その他2 全15事業】			
（2）【課題】 ○公民館まつり、アートフェスティバルなどは回を重ね、地域の催しとしても定着してきているが、中心となる人材の顔ぶれや、若い世代を求める声もある。これは現在の公民館事業全般について言える事でもあるが、今後の交流やつながりのあり方を視野に入れ、新たな仕組みを考える時期かと思われる。					
事業の成果					
・バラエティサロン・映画会等の気軽に音楽や芸術・文化に触れる場を創造した。バラエティサロン「グラスハーブ（コロナ禍のため中止）」は旭が丘地区センターでのアウトリーチ事業でもあった。レクリエーションを公民館から発信していくことも注力したい。 ・たくさんの方が同じ映画を鑑賞する映画会というスタイルは根強い人気がある。参加者のつながりづくりをしながら継続していきたい。 ・「朗読サロン」も、誰もが簡単にでき、生きがいつくりに、繋がられる。参加団体が固定化しないような工夫を行いたい。 ・演劇講座は、参加者が鑑賞だけではなく、発声方法を体験する内容にした。演劇を体験しながら市民文化として根付いてくような工夫をしていきたい。					
公民館運営審議会の意見					
新しい文化を育むには、自地域の文化を再評価するとともに、他地域の文化と交流させることが重要となる。世界の民族音楽や沖縄民謡を取り上げたこと、「対話」重視の演劇講座等は評価できる。 「着物の帯地で作るお雛様事業」は、サークル化した後、作品の展示会・公民館まつりへの出展等の活動を事務局が提案をしてみてはどうか。基本施策6との整合性がとれるとよい。					
事業の課題と改善策					
・演劇講座のように「対話」を重視し、市民同士の交流を促進させ、自地域文化の再評価と他地域文化との交流を促し、「新しい文化を育むもの」を創出させる事業を展開させるための検討が必要である。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表					
事業項目	基本施策(8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る。				
事業の概要					
1【目的】 地域や暮らしと結びついた憲法学習・平和学習を展開し、その学びが地域や日常生活に生きるような事業を展開することを目的とする。	経費	【謝礼】15,000円 【委託料】150,000円 【合計】165,000円			
2【令和元年度（平成30年）の運営評価のポイント】 （1）公運審より ○平和事業は学校連携をさらに広げて行ってほしい。 ○市民の日常生活の基本である事業なので、さらに展開して行ってほしい。 ○公民館の原点である。若者へのアプローチをどのように呼びかけていくかを検討して行ってほしい。	延べ参加人数	【講座等】41人 【委託業務】208人 【合計】249人 【内訳：成人事業1、ひの市民大学1、委託事業1全3事業】			
（2）【課題】 世代に応じたニーズの掘り起こし、アピールを行い、新たな参加者を開拓していく。					
事業の成果					
- 平和学習、憲法学習は公民館に於いて学びの機会を提供していく必要があるが、今年度は3事業にとどまった。 - 定期開催している「公民館平和事業」には、208名の市民が参加。星槎国際高等学校の生徒はスタッフを務めてくれ、大坂上中学校演劇部は、朗読劇「チーちゃんの影おくり」を演じてくれた。 - 戦争体験者の平均寿命が80歳以上となり、体験談を聞ける機会は年々減少していく中で、その思いを受け継ぐため、事業への若者世代の参加が益々重要となる。 - ひの市民大学事業では、市民委員の企画により、憲法の精神の原点を探る講座を行うことができた。					
公民館運営審議会の意見					
- 平和、憲法学習は公民館の学習の基礎であり、公民館主催の平和事業が継続していることは高く評価する。 - 憲法と市民の暮らしとの関わりの視点からより平易に、より深く、身近なものとして理解してもらえる事業を企画して欲しい。 - 不断の努力を行いながら進めていく必要がある。それを実現するには地道な学習を重ねていく必要がある。平和と憲法を語る環境をノーマルに戻していくためにも、頑張ってもらいたい。 - 中学生の出演や、高校生の参加により、その保護者、友人が観覧し、参加する世代の幅が広がったことは注目に値する。					
事業の課題と改善策					
- 今後も確実に継続し、発展させていくべきものである。 - 参政権が18才以上となった現在、若い世代向けの「憲法と日常生活」講座を開催していくなどの、より発展的、実践的な企画内容を創造していかなければならないと考える。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表					
事業項目	基本施策(9) 地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進するような事業を展開する。				
事業の概要					
1【目的】 地域の活性化やサークル活動の担い手となるリーダー育成を推進することを目的とする。	経費	【謝礼】145,000円			
2【令和元年度（平成30年）の運営評価のポイント】 （1）公運審より ○公民館は、市民と職員がフラットに会話できる環境。そこから次世代を担うキーパーソンが育つ仕掛けを構築してほしい。	延べ参加人数	【講座等】277人 【内訳：成人事業7、青少年事業1 全8事業】			
（2）【課題】 ○参加者のスキルを高める事が即リーダー養成に繋がらないのでは。との指摘もあるが、新たな利用者層、若い世代が様々な場に参加する機会を増やす事が、始めの一歩だと考える。					
事業の成果					
・8事業と少なめだが、サークル会員が講師値なる場合、開催前の打合せは相当時間を要した。尻込みしがちな市民と職員とが一緒に考え少しずつステップしていく。やる気になって下さった方々は、その他の公民館事業に於いても活躍し、「学びの循環」を形作っている。これからも、このような仕掛けを講座に施していきたい。 ・「咲かせてみましょう！胡蝶蘭講座」では、退社した市民が勤務経験から得た技術を市民に伝えることができた。 ・「電腦キッズ」は現役情報処理技術者であり、PTA役員でもある保護者に講師となってもらい、単にプログラム教育だけでなく、子どもたち同士がコミュニケーションをとるような工夫を行った。					
公民館運営審議会の意見					
「持続可能な社会」を目指す公民館にとって、市民の学びを通して、地域のつながりをつくり、学びを活性化させる担い手になるために支援する事業の推進は重要である。					
事業の課題と改善策					
・地域の名人、達人とリーダーは必ずしも同じではないので、地域活動を推進するリーダー育成事業と名人、達人を発掘する事業については整理をする必要がある。 ・公民館は、地域の活性化を担うリーダーを育成するために、地域情報の収集にさらに努めていく。 ・超高齢社会、人口減少社会を意識し、市民の「セカンドライフ」の学習ニーズを取り入れた企画を検討していく。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表					
事業項目	基本施策(10) 地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する。				
事業の概要					
1【目的】 地域や日常生活から課題を取り上げて、ともに考えたり、話し合ったりすることで、学びを共有し新たな指標を見つける機会とする。	経費	【謝礼】29,000円			
2【令和元年度（平成30年）の運営評価のポイント】 (1) 公運審より ○「地域の諸問題をとりあげた講座」がわかるようにサブテーマを工夫してほしい。 ○中高大生などの若い世代のもっている「学びを拓く力」を引き出しつつ、他機関・各自治会の支援・協力を促しあっているとよい。 ○「話し合おう！考えようこれからの公民館を」は、現在の内容で参加者のリーダー育成につながるか疑問である。	延べ参加人数	【講座等】103人 【内訳：成人事業4、ひの市民大学3、その他1全8事業】			
(2)【課題】 ・地域、生活課題をテーマにした時、参加者が定員に満たないものもある。情報を必要とする人にきちんと届ける仕組みを構築する必要がある。 ・「話し合おう！考えよう！これからの公民館を」に様々な市民が参加する工夫を行う。					
事業の成果					
・日野市商工会と協働して行った「リフォームセミナー」は参加者は少なかったが、本当にその学びを求めている市民が集まり、歴史としての建築を学ぶこともできた。商店を営む市民が子どもたちにビジネスとは何かを教える「浅川子どもビジネススクール」では子どもたちに地域の経済活動を学んでもらうことができた。中小企業と協働する学びも今後推進していきたい。 ・公運審答申から生まれた「公民館サークル連絡会」は、ジャンルにこだわらないサークル会員の方々の様々な意見・市民ニーズが得られるので、今後も継続していく。 ・「日野レッドドルフィンズ講座（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）」は、日野市在学の学生が興味を持つことを講座にするフットワークの良い事業であるとともに、あらゆる地域資源の交流が実現できる事業なので、このような講座づくりは今後も継続していきたい。					
公民館運営審議会の意見					
地域企業や商店連合会との連携を図り、「レッドドルフィンズ講座」や「浅川子どもビジネススクール」講座等が展開された。生活課題は一人ひとりにあるが、地域のコミュニティも希薄になった現在、地域住民の互いに理解し合いたいという思いに応え、地域課題に取り組む市民を取り結ぶ公民館の役割は大きくなっている。					
事業の課題と改善策					
・子どもたちのキャリア教育や地域の産業振興に対して、公民館が関わって事業を展開することの効果が明らかにしていく必要がある。 また、「人生100年時代」に向かって、市民が今何をすべきかを考える事業を検討して欲しい。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表						
事業項目	重点事業(1) 地域に根付いた学習活動の充実					
事業の概要						
「地域に学びの種をまく」をコンセプトに、学びのアウトリーチ事業を実施。 - 第5次行財政大綱を踏まえ、公民館から地域へ学びを発信するモデル事業を展開。						
事業の成果						
- 中学校区ごとに担当職員が地域へ出向き、バラエティに富んだ学びの場の提供に取り組んだ。地域で活躍している人、そこに暮らす人たち等の地域資源をリサーチし、企画立案から諸調整や準備までの過程も含めて、新たな事業成果としたい。 ※2月から3月に予定していた事業は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。 ※実施中学校区：第一中地区、大坂上中地区、三沢中地区、第三中地区 ※事業中止中学校区：七生中地区、第四中地区、第二中地区、平山中地区						
公民館運営審議会の意見						
- 市民生活に密着した公民館事業を行うために、市内の各地域へのアウトリーチ事業を展開した。 - 自治会・NPO法人などの地域を構成する団体との協働等により、「学びの種」からどんな成果があったのかを再検証しながら、これからどんな「学びの種」を蒔くのかを検討してほしい。						
事業の課題と改善策						
- 市民の様々な学習ニーズに応えられる「持続可能な公民館」の構築のために、公民館事業の形態を多様化していくことが課題である。 「日野市学びの種マップ」を作成することにより、アウトリーチ事業の実施状況を「見える化」し、すべての地域に対してくまなく学びを届けていくことが課題である。						

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表					
事業項目	重点事業(2) 公民館における利用者交流の新たなしくみづくり ・サークル連絡会の立ち上げ ・新しいことが生まれるみんなの居場所 ・「人と人を結ぶもう一つの学び舎」をコンセプトにした高幡台分室の環境づくり				
事業の概要					
・平成30年度公民館運営審議会答申を受けて、以下の事業を実施。 ①ゆるやかにつながる機会と場の拡充 ②つながることで学びが深まる仕組みの整備 ・サークル同士の意見交流の場「サークル連絡会」の開催 ・サークルの仲間づくり支援 ・中央公民館談話室・中庭の活用、高幡台分室の学習環境の充実					
事業の成果					
・「サークル連絡会」を2回に開催した。異種サークル同士が、テーマに沿って、情報交換やアイデア出しを行ない、これからの公民館活動への前向きな意見交換や交流を行うことができた。 ・サークルの仲間づくり支援として、陶芸・切り絵・手芸・オカリナサークルの会員を講師として講座を実施した。新た仲間づくりに結びつけることができた。 ・中央公民館談話室を活用した「ゆるカフェ時間」事業の継続。聴覚障がい者有志による「手話DEカフェ」、1中アクションプラン実行委員会と協働した「蚕の糸紡ぎ体験講座」等を実施した。 ・高幡台分室では、利用者を中心に、新たな学びあいの仕組みづくりを応援する姿勢が生まれている。					
公民館運営審議会の意見					
・サークル同士の連携が進んでいる。 ・働き方改革でライフスタイルが変わり、在宅勤務が増えることで、現役世代・大学生が公民館や地域の活動に参加しやすくなるのではないかと。公民館主導で現役世代・大学生が社会教育活動への参加を推進してほしい。					
事業の課題と改善策					
・高幡台分室談話室の整備や本館中庭の居場所づくりは、整備に向けて具体的なデザインを描いて実施していくことを期待したい。 ・「ゆるやかにつながる居場所」づくりは、様々な市民にアイデアを出し合ってもらいながら、結果にこだわらずに創造していくことが重要である。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表					
事業項目	重点事業(3) 子ども、若者を対象とした事業の拡充 ・学びや体験の機会の提供 ・大学連携による学びの場の創造				
事業の概要					
・子ども将棋サロン・囲碁サロン運営に多世代交流の仕組みを導入 ・ひの市民大学企画運営会議に「若者・子育て部会」を新設 ・帝京大学丹間ゼミ、実践女子大学須賀ゼミとの連携事業の継続					
事業の成果					
・子ども将棋サロン・囲碁サロンは運営を、公民館将棋・囲碁サークルが担う仕組みにして、公民館を多世代交流の学びの場とする事例となった。 ・ひの市民大学企画運営委員会に若者・子どもへの学びを企画することに特化した部会を設置し、子どもや若者を対象とした事業の拡充を図った。 ・帝京大学丹間ゼミとの大学連携は3年目となり、公民館をフィールドに、大学生が事業に参加し、利用者との対話しながら、冊子「あなたを彩る地域の輪～公民館からはじまる・ひろがる」を制作。市民と大学生、公民館をつなぐツールができた。 ・実践女子大学、須賀ゼミの学生による地域活性化ツール「アートかるた」第2弾制作講座や、日野レッドドルフィンズ講座（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）を企画し、若い世代のアイデアを取込んだ。					
公民館運営審議会の意見					
若者の成長・発達の層に応じて、人生経験の豊富な方々との出会い、交流・協働ができる機会が具体的に、生まれてきている。					
事業の課題と改善策					
・「子ども・若者」をひとくくりにするのではなく、どのような関心を持った子どもを対象に事業を展開する必要があるのか、どのような課題を抱えた若者にアプローチすることが求められているのかを公民館として考えていく必要がある。 ・子ども・若者を対象とした事業には、さまざまな経歴を持った方に参加を呼びかけ、多世代交流ができる仕組みを検討してほしい。					

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	重点事業(4) 第2次公民館基本構想・基本計画策定について				
事業の概要					
令和2年3月をもって、第1次日野市公民館基本構想基本計画が終了した。そこで、めまぐるしく変化する社会情勢に対応できる「これからの公民館」像を市民に示し、学び学びあう生涯学習・社会教育社会を実現するために、「第2次公民館基本構想・基本計画（令和2年度～令和6年度）」の策定を行った。					
事業の成果					
・策定にあたっては、第2次日野市公民館基本構想・基本計画策定委員会を設置した。その委員は、公民館サークルや利用者団体に属する者、社会教育関係者、学校教育関係者のほか、市内NPOに所属する者、子育て世代の方、学生、公募市民などの12名の委員と、社会教育の専門的な知識を持つ学識経験者として帝京大学教育学部丹間准教授をアドバイザーに招き、8回の策定委員会を開催。様々な市民の立場から意見をいただき、これからの公民館の基本構想・基本計画等について議論を深めることができた。 ・令和元年10月に市民（無作為抽出）へのアンケート調査（1997件発送 回収率24%）を実施。それによって、現在の学習に対する市民ニーズを第2次計画に反映させた。					
公民館運営審議会の意見					
現在の公民館活動・市民ニーズに密着した基本構想・基本計画が策定できたことは評価できる。 これからの公民館運営については、策定された第2次計画に基づき、市内の地域活動を行う団体等との連携を強めていくことを重視して行ってほしい。					
事業の課題と改善策					
現在、新型コロナウイルスのため、第2次計画は機先を制される形になったが、これからの5年間で創意工夫をしながら、多くの人が公民館活動に参加できる環境づくりをしていくことが課題である。 また、地域の福祉、防犯防災等を充実させ、市民の暮らしを安全で豊かにするためにも、策定された第2次計画や、計画づくりの中で出された課題に基づき、学校等との連携を深めていく必要がある。					

公民館事業のあらまし

(「令和元年度社会教育のあらまし」からの抜粋)

1 公民館主催事業

① 成人事業

ア. バラエティサロン

地域の中で気軽に“質の高い文化”に親しめる場として位置付け、音楽の演奏会等を開催する。

回	開催日	内 容	出 演	会 場	参加人数
289	5月19日	マリンバと世界の珍しい民族楽器	ポロンタン (伊藤すみれ・市原由里香)	第32回公民館まつり	65
290	8月17日	唄三線と沖縄んポップスで真夏の夜を楽しみましょう	ひの坂かりんとう	仲田の森蚕糸公園(第23回ひの아트フェスティバル)	200
291	1月11日	市内在住の落語家による新春ライブ	林家 彦丸	中央公民館	71
292	3月14日 (中止)	グラスハーブの世界へようこそ! ~グラスが奏でる不思議な音色	エリクオ (大橋エリ・後藤郁夫)	旭が丘地区センター	—

イ. 映画会

名画と呼ばれる作品を取り上げて上映し、その時代背景、製作過程、監督、俳優などについて考察する。

上映会場は中央公民館で3回、福祉支援センター(高幡)2回、多摩平の森イオンホール1回。

開催日	作 品	監 督	出 演	参加人数
5月25日 (福祉支援センター)	たそがれ清兵衛	山田 洋二	真田広之ほか	45
7月24日 (中央公民館)	魔女の宅急便	宮崎 駿	アニメーション	37

ウ 8月24日 (中央公民館)	壬生義士伝	滝田 洋二郎	中井貴一・佐藤浩 市ほか	44
・ ぱ 9月7日 (多摩平の森イオンホール) そ	①生まれてはみ たけれど ②血煙高田馬場	①小津 安次郎 ②伊藤 大輔	①斉藤達雄・吉川 満子 ②大河内 傳次 郎・東木寛ほか	81
こ 11月30日 (福祉支援センター)	檻樓の旗	吉村 公三郎	三國連太郎ほか	34
ん く ら ぶ 12月21日 (中央公民館)	子ども映画会 「ムーミン落ち てきた星の子」 「セロ弾きのゴ ーシュ」「ミッキ ーのメリークリ スマス」	虫プロ 学研 ディズニープロ	アニメーション	39

ウ. ぱそこんくらぶIN幡台分室

開催日	4月5日～2月21日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全19回
内容他	中央公民館高幡台分室のパソコンを広範な市民に活用いただき、パ ソコンの使える交流の場として開催。
講 師	松村 良
参加 延べ人数	109人

エ. 現代社会の生きづらさを考える ～ 発達障害とともに生きる ～

開催日	4月21日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	発達障害の方に、どう寄り添い支援をしていけば良いかを解説いた だいた。
講 師	滝口 仁、伊藤 克之
参加 延べ人数	37人

オ. 皆で踊ろう日野音頭～第32回公民館まつり～

開催日	5月18日・5月19日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回

内容他	第32回公民館まつりにおいて、来年開催される東京オリンピック・パラリンピックの機運向上を目的に、オリンピック音頭などを手ほどきしてもらった。
講 師	井上 富子
参加 延べ人数	32人

カ．中央公民館×地域包括支援センターすてっぷ「食生活から知る“元気”」の作り方：健康クイズ！

開催日	5月19日
会 場	カワセミハウス
開催回数	全1回
内容他	地域包括支援センターすてっぷと共同し、看護師資格を持ち、現在は市内保育園で保育士として勤務している山崎氏を講師として迎え、楽しみながら健康について学ぶ「健康クイズ」講座を実施した。
講 師	山崎 裕子
参加 延べ人数	30人

キ．まちの“せんせい” 発見！講座「咲かせてみましょう！胡蝶蘭」

開催日	5月25日～7月27日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全6回
内容他	様々な分野の専門家的な知識を持つ市民に講師になってもらい、市民の新たな学びから生まれる地域の交流・生きがい作りを促す講座として、市内在住の「蘭の専門家」による連続講座を開催した。
講 師	柴寄 喜好
参加 延べ人数	66人

ク．「多摩のトレッキング入門」

開催日	5月31日～7月20日
会 場	中央福祉センターほか
開催回数	全8回【内、2回の実習は荒天のため中止】
内容他	トレッキングの初心者を対象に、登山に関する知識を座学と実習で学ぶ講座を実施。
講 師	富岡 伸次、澤登 均

参加 延べ人数	73人
------------	-----

ケ．観てよし、聞いてよし、体験してよし！「朗読劇 龍が見える時」 公演

開催日	6月2日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全2回（午前の部・午後の部）
内容他	単なる演劇上演ではなく演劇に参加する楽しみを体験できる場づくりに狙いを定めて実施した。結果、経験豊富な市民講師による演劇を楽しみながら、発声や台詞を話す体験を参加者全員が行う場を創り出すことができた。
講 師	お芝居の工房ちゃとらん、桜美会
参加 延べ人数	42人

コ．絵画入門～ 絵を始めてみましょう ～

開催日	6月9日～7月21日
会 場	中央公民館
開催回数	全4回
内容他	成人を対象に、絵画の入門講座を実施。本講座は全4回で基本的なスケッチから、実際の作成までを学び、生徒が自分の好きな画材（油絵、日本画を除く）を選択して取り組んだ。
講 師	松川 佳代
参加 延べ人数	56人

サ．歩こう・調べよう・ふるさと七生～春・夏・秋・晩秋編～

開催日	6月15日～11月9日
会 場	市内各地
開催回数	全4回
内容他	春 編 ほどくぼ小僧 「藤蔵」と「かくれ穴」 夏 編 初夏の真慈悲寺と百草画荘 秋 編 高幡不動駅前の移り変わりとハイキング 晩秋編 平山宗印寺と季重 そして平山遺跡
講 師	生涯学習学びの場プロジェクト一課三館

参加 延べ人数	83人
------------	-----

シ．リフレッシュ・リズム体操

開催日	7月6日・7月13日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全2回
内容他	誰にでも簡単に動きやすいリズム体操をすることで健康への関心を高め、普段の生活でも姿勢を正せるよう意識させる。
講 師	武田 瑞
参加 延べ人数	104人

ス．おもちゃドクター養成講座

開催日	7月16日・7月17日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進するような事業としておもちゃ修理の基礎知識、診断、方法、必携テストの製作、実習をした。
講 師	日野市おもちゃドクターの会
参加 延べ人数	23人

セ．土曜の朝はパン作り

開催日	9月10日～2月4日
会 場	中央公民館
開催回数	全6回
内容他	パンづくりの基本と応用を学び、色々なパンを作る楽しみと技術の向上を図る。パン作りとサブメニュー作りを通して地域の仲間作りを目指した。(サークル化)
講 師	白河 育子
参加 延べ人数	88人

ソ．ペン字基礎講座

開催日	9月27日～12月13日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全6回
内容他	ボールペン習字の基本を学ぶ講座。6回の講座を通し自己の成長を感じ、文字を丁寧に書く心がけを持てるようにする。(サークル化)
講 師	矢田 祐子
参加 延べ人数	113名

タ．着物の帯地で作るお雛様

開催日	10月10日～11月28日
会 場	中央公民館
開催回数	全4回
内容他	着物の帯地を使ってお雛様の作り方を学び、日野宿界限で催される「日野宿ひな巡り」に出展する。(サークル化)
講 師	大竹 裕子
参加 延べ人数	76名

チ．国際理解講座「ラテンアメリカ編」

開催日	10月13日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回【台風のため中止】
内容他	ラテンアメリカに移住した日本人、現在・過去の日系社会について日系2世の講師から紹介してもらう。
講 師	松本 ファン アルベルト
参加 延べ人数	—

ツ．月に一度は世界の料理を楽しもう

開催日	10月19日～2月22日
会 場	中央公民館
開催回数	全5回【2月22日は新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	平成29～30年度にかけて開催した「月に1度は郷土鍋」をリニューアルして世界の料理を作り、その風土についても学習した。
講 師	鈴木 翔子

参加 延べ人数	78人
------------	-----

テ．素敵に花を生けよう

開催日	11月19日～12月17日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	楽しく生け花の基本を学ぶ講座。それぞれの生け方を知り、花と向き合い癒される時間を共有した。(サークル化)
講 師	成松 和子
参加 延べ人数	41人

ト．ココロとカラダにごほうびを～快適な入浴のすすめ

開催日	11月24日・12月8日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	入浴法を知り、よりよい心身の状態を保つ秘訣を教えていただいた。
講 師	佐々木 恵
参加 延べ人数	31人

ナ．チョークアート講座

開催日	11月30日・12月21日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全2回
内容他	当講座をきっかけに、若い世代の方に公民館を「知ってもらい」、「来てもらい」事を目的に、高幡台分室でチョークアートを描いた。
講 師	佐藤 真理
参加 延べ人数	16人

ニ．サークル支援講座「ほっと手作りママ時間」

開催日	12月17日～2月21日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	子育てサークルが主体となり、保育付きの講座を開催。同じ世代のお母さんたちの集いの場となった。

講 師	ゆるゆる手作りの会
参加 延べ人数	19人

ヌ. 田んぼの学校 × 中央公民館令和初 あけましておめでとう講座

開催日	1月5日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	田んぼの学校で収穫した稲の藁を活用し、縄の編み方や門松制作にまつわる話などお正月らしい講座ができ、市民の方に地域の伝統と文化の理解を深めることができた。
講 師	尾形 重男
参加 延べ人数	12人

ネ. ♪一からはじめるオカリナ講座 ♪

開催日	1月7日～2月18日
会 場	中央公民館
開催回数	全6回
内容他	音楽に興味がある方、初めてオカリナを持つ方、以前少しやったことがある方などが集まり開催した。(サークル化)
講 師	大森 奈々
参加 延べ人数	72人

ノ. サークル支援講座 切り絵体験入門

開催日	1月14日～1月28日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	サークルの縮小化に悩み、運営維持を模索していた会員との雑談の中から、事務局とタイアップして実現した。
講 師	公民館登録サークル 「ひの切り絵サークル」
参加人数	17人

ハ. 陶芸講座 はじめてのやきものづくり

開催日	1月16日～3月17日
会 場	中央公民館
開催回数	全9回 【5回目よりコロナウイルス感染防止のため延期】

内容他	公民館登録サークルの会員たちが、初めて「講師」にチャレンジした陶芸講座。講座終了後にサークル化する事を計画した。
講 師	公民館登録サークル 「土楽」
参加 延べ人数	44人

ヒ． 見えないから分からない住まいの断熱・耐震リフォームセミナー

開催日	1月18日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	日野市商工会主催の市内リフォーム専門家組織「建築ステーション」と協働し、市民の暮らしの要である「住まいの見直し」という生活課題の効果的解決の知恵を学んでもらうためのセミナーとした。
講 師	大久保 彰紀、酒井 哲
参加 延べ人数	6人

フ． 国際理解講座「イタリア編」

開催日	1月26日
会 場	中央公民館
開催回数	全 1 回
内容他	歴史と文化と美食の宝庫 イタリア共和国の紹介
講 師	シャバン ホジャ
参加 延べ人数	47人

ヘ． L G B T入門講座 ～誰もが自分らしく暮らせる社会とは

開催日	2月2日・2月9日
会 場	勤労・青年会館
開催回数	全2回
内容他	基本的な理解を深める機会とした。 「働く」上での現状と課題の抽出。「A L L Y（支援者）」をキーワードにL G B T当事者のみならず、周囲の方たちにとっても「自分らしく暮らせる社会」とはどのような社会か考え合った。
講 師	島津 茉莉、鈴木 はな、虹色とんちー
参加 延べ人数	23人

ホ． 国際クッキング「ウクライナの家料理を一緒に」

開催日	2月9日
-----	------

会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	2020東京オリンピック・パラリンピックのウクライナのホストタウンであることからウクライナ出身の方を講師に招き、ウクライナの家庭料理を作っていただいた。
講 師	志摩 タチアナ
参加 延べ人数	20人

マ. イライラしない子育ての方法～アンガーマネジメントで穏やかな日々～

開催日	2月14日～3月13日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回【2月28日・3月13日は新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	子どもとの向き合い方や子どもとどのように対応すればいいのか。不安やストレスとうまく付き合うための感情をコントロールする方法を学ぶ。
講 師	岸部 知佐子
参加 延べ人数	18人

ミ. 水害時の避難計画（マイ・タイムライン）

開催日	2月15日・2月29日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全2回【2月29日は新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	気象現象の激甚化にともない避難所へ避難する市民が多くなったため、大雨・台風の避難情報についての個人的な分析と避難行動実施時期や方法について学ぶ。
講 師	防災安全課、ボランティアセンター
参加 延べ人数	26人

ム. はじめての「切り絵」をつくろう

開催日	2月19日・3月4日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全2回【3月4日は新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	切り絵の作品作りをとおして、生き生きとした地域交流を目指す。
講 師	永瀬 陽二、増子 陽子
参加 延べ人数	14人

メ. これからの生き方について著者と語ろう

開催日	2月22日～3月7日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全3回【新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	社会の変化とともに私たちの暮らしや仕事、家庭のあり方などを3人の著者をとおして伝えたいことを語ってもらう。
講 師	
参加 延べ人数	—

モ. 子どもが100倍かわいくなる。ふれあい育児講座

開催日	2月29日・3月14日
会 場	勤労・青年会館
開催回数	全2回【新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	母親、父親などがほっこり安心して肩の力を抜くための時間を作り、「わらべうた」や「タッチケア」からふれあう大切さを学び、体感する。
講 師	峰崎 由美子、佐伯 有香、丸山 佳代子
参加 延べ人数	—

ヤ. 令和の出典とひな祭りの源流 万葉集の世界

開催日	3月1日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回【新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	「令和」の語源について、万葉集の世界とともに語ってもらう。
講 師	池田 三枝子
参加 延べ人数	—

ユ. 日野レッドドルフィンズ×実践女子大学×中央公民館講座

トップリーグを応援しよう～地元日野レッドドルフィンズの魅力

開催日	3月4日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全1回【新型コロナウイルス感染症対策により中止】

内容他	ラグビーの魅力やルールを知り、地元日野レッドドルフィンズを応援するイベント。
講 師	日野レッドドルフィン、実践女子大学学生
参加 延べ人数	—

ヨ．人生100年時代のセカンドライフ～僕らに必要な”転ばぬ先の杖”～

開催日	3月22日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回【新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	①セカンドライフに向けての心構え ②自分のからだに向き合うための知識（健康体操・リハビリ等） ③セカンドライフを楽しむための市内資源の紹介等
講師	飯塚 浩木
参加 延べ人数	—

ワ．障害者理解講座 大人の発達障害～ADHD入門講座

開催日	3月29日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回【新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	昨今、大人の発達障害、大人のADHDなどの言葉が話題となっています。当講座はADHD（注意欠陥多動性障害）について基本的な知識を得ます。
講 師	滝口 仁
参加 延べ人数	—

②成人委託事業

ア．外国人のための日本語教室＜委託事業＞

地域の中で外国人が生活していくために、必要な日本語を学ぶ場として始まった事業。市内に住む外国人同士や外国人と日本人の交流を通して相互理解を深め、異文化共生を実践する場となっている。

ア) 委託先 日野国際友好クラブ

イ) 委託料 400,000円

ウ) 委託期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

エ) クラス 日本語能力レベルが同程度の学習者ごとに編成。一人の教師が1～3人の学習者を受け持つ。

コース	水曜日(午前)	水曜日(夜間)	金曜日(夜間)
時間	午前10時～正午	午後7時～9時	午後7時～9時

会場		中央公民館 中央福祉センター	七生福祉センター 公民館高幡台分室	中央公民館 中央福祉センター
回数		全36回	全36回	全36回
延べ 参加 人数	学習者	343	430	702
	ボランティ ア	427	410	679

全108回 1,475人(学習者) 1,516人(ボランティア)

水曜日午前コースに保育あり。

オ) 教材

「みんなの日本語 初級Ⅰ、Ⅱ」、補助教材として絵カードや聴解CD、
市販のテキスト、新聞など

カ) 課外授業・行事

開催日	内 容	会 場	参加人数
6月9日	浅草雷おこし作り体験	浅草	49
12月15日	イヤーエンドパーティ	中央福祉センター	132
3月8日	修了式・日本語スピーチ大会	中央公民館	中止

延べ参加人数 181名

※イヤーエンド・パーティではお互いの国の文化等を披露しあい、修了式では日本語スピーチ大会を行い、楽しみながら交流を深めている。

イ. 田んぼの学校＜委託事業＞

農体験、その他の活動を通じて、自然に親しみ、そこで暮らす生物との繋がり、得られた大地の恵みを享受しながら、生きる・学ぶ・触れ合う・育てる力を学ぶとともに、環境問題も含め、自然と人との共存、人と人との関わり・繋がり場としている。

ア) 委託先 田んぼの学校運営委員会 代表 斉藤 守

イ) 委託料 224,000円

ウ) 委託期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

エ) 内容ほか

会場	新町会場・南平会場・中央公民館
内容他	種まきから刈り取りまで、季節を通して水田にかかわり、米作りの楽しさと自然の厳しさを学ぶ。12月7日の収穫祭には、もち米を使って餅をつき、食べ、収穫の喜びを分かち合った。
講 師	福島 久夫、和田 菊代、水口 均、高橋 博
参加人数	新町延べ参加人数 262人、南平延べ参加人数 228人 全24回 490人

ウ．公民館平和事業＜委託事業＞

日野市では8月を平和月間として、事業を展開した。公民館では、映画、公演をとおして、平和の大切さを考える場とした。

ア) 委託先 公民館平和事業実行委員会 代表 村上 敏雄

イ) 委託料 150,000円

ウ) 委託期間 令和元年7月11日～令和元年12月31日

エ) 内容ほか

会場	多摩平の森ふれあい館ほか
日時	8月3日（土）
内容他	毎年8月に平和事業を開催。市民の実行委員会を主体に、様々な世代の市民が様々な表現を通じて、戦争を次の世代に語り継ぐ、平和について考える場とする。
講師・出演	公民館平和事業実行委員会
来場者数	208人

③ 高齢者事業

ア．程久保うたごえパーク

開催日	4月6日～2月8日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全8回
内容他	皆で集い楽器の伴奏に合わせて大きな声で歌うことで、家にこもりがちな方がストレス解消・リフレッシュをするとともに、仲間づくり・生きがいづくりの場を提供した。
講師	アンサンブル「ジュビア」
参加 延べ人数	231人

イ．朗読サロン

開催日	4月12日～2月2日
会 場	中央公民館高幡台分室、多摩平交流センター、イオンホール
開催回数	全7回
内容他	公民館で活動をしている朗読サークルへ“発表の場を提供する”ことと同時に、小さな文字を読むのが段々と敬遠しがちな高齢者を対象に、名作を朗読で楽しんでもらい、参加者同士の交流を図ることができた。
講師	朗読の会「うづき」、「日野にじの会」、「のんど会」
参加 延べ人数	328人（朗読サロン215人、サロンスペシャル113人）

ウ．初心者向けスマートフォン入門講座「はじめてのスマートフォン」

開催日	9月17日～10月1日
会 場	豊田駅北交流センター
開催回数	全3回
内容他	スマートフォン初心者のため、基本的な操作の仕方や、アプリケーションのインストール方法、Wi-fi接続の仕方やセキュリティ対策について学んだ。
講師	NPO法人シニアネットクラブ
参加 延べ人数	35人

エ. アーユルヴェーダ入門

開催日	10月10日・10月24日
会 場	ふれあいホール ほか
開催回数	全2回
内容他	古代インドで生まれた伝統医学のアーユルヴェーダ。食事やヨガなどの実践を通して心と体のバランスを大切に、「健康に生きる知恵」を学んだ。
講師	三浦 麻貴
参加 延べ人数	35人

オ. コツを学べば家でもできる！～楽しくみんなで脳トレ体験

開催日	12月5日・12月19日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全2回
内容他	仲間と楽しみながら「脳トレ」に取り組む体験を通して、日常生活をより豊かに生きるコツを学んだ。
講師	細田 和幸、ながた みかこ
参加 延べ人数	34人

カ. 手作りチャイを味わいながらインドのお話を聞きましょう

開催日	1月25日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全1回
内容他	インド出身の講師を招き、手作りチャイを飲みながらインドの生活様式や文化について学び、参加者相互の交流を図った。
講師	スネーハル・カタウカ
参加 延べ人数	9人

キ. シニアライフを豊かに生きる～何を片づけ、何をのこすか

開催日	1月31日・2月7日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	シニア世代にとって、これからをより豊かに生きるために大切なことは何かを考える講座。今回は「何を片づけるか」「何をのこすか」という二つのキーワードで「終活」をとらえなおしてみた。
講師	古元 奈保美、宮野 真有
参加 延べ人数	51人

ク. 「わたしは失敗しないから！」～高齢者詐欺にご注意

開催日	2月28日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回【新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	高齢者を狙った、悪質商法や振り込め詐欺が社会問題になっているため、消費者センター、防災安全課、都消費者センターの落語家による啓発落語などによる啓発講座。
講師	林家がじら、消費者センター消費生活相談員、防災安全課
参加 延べ人数	—

ケ. 「リサイクル～さき織り体験」

開催日	3月4日～3月18日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全3回【新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	織物作家の市民に講師を依頼し、さき織りの作成技術や織物に関する理論や実際に古布から糸をつくり、コースターを織り上げる講座。
講師	中村 由紀子
参加 延べ人数	—

④ 青少年事業

ア. 子ども将棋指導対局

開催日	5月～2月(第2、第4水曜日)
会 場	中央公民館
開催回数	全19回【3月は新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	当初、将棋サロンは初心者为主だったが、皆それぞれ腕を上げ将棋会館に赴き「級」を取得するものまででできた。また、途中からそれぞれのレベルに合わせクラスを強弱の2つに分け、戦績を発表し競争意識を持たせることを実施した。

講 師	公民館登録サークル「日野市将棋サークル」
参加 延べ人数	417人

イ. 子ども囲碁サロン

開催日	6月21日～3月27日（毎週金曜日）
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全36回
内容他	小・中学生の囲碁初心者を対象に、子どもたちが気軽に集まれる場を提供し、囲碁の面白さを伝えた。
講 師	公民館登録サークル「高幡台分室八目会」
参加 延べ人数	108人

ウ. 季節を楽しむ和の行事「親子でつくる かしわ餅編」

開催日	4月27日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	端午の節供の由来や、節供で使われる植物など昔から伝わる伝統行事のお話を親子または祖父母と孫で学んだ。
講師	枝川 寿子
参加 延べ人数	16人

エ. 季節を楽しむ和の行事「春夏秋冬編」

開催日	6月16日～2月1日
会 場	中央公民館
開催回数	全6回
内容他	昔から伝わる日本の伝統行事『端午の節句』をテーマに、暦に合わせた季節の伝統行事や習慣を学ぶための講座を開講した。親子で「季節」を楽しみ、伝統文化の継承、歴史的見識を深めることを目的として実施した。
講師	枝川 寿子
参加 延べ人数	123人

オ. 未来の車を作ろう 夏休みカーデザイン教室

開催日	7月26日
会 場	日野自動車(株) デザインセンター
開催回数	全1回

内容他	当市の代表的な産業である日野自動車（株）のデザイン部のプロデザイナーの協力のもと、プロデザイナーの「ものづくり」のすごさ、また醍醐味を知ること、参加する児童にも日野市の「ものづくり」に挑戦してみようという思いを持ってもらうことを目指した。
講師	日野自動車㈱
参加 延べ人数	16人

カ．夏休み小学生集まれ！わくわく学習術

開催日	8月1日・8月2日
会 場	1日目 JAXA宇宙科学研究所、相模原市立博物館 2日目 中央公民館、日野第一中学校校庭
開催回数	全2回
内容他	市内の小学生高学年を対象に普段の学校の授業とは異なった視点、方法で楽しみながら学習への関心が高められることを目的として『夏休みわくわく 学習術』を実施した。 JAXA相模原施設見学、博物館見学、プラネタリウム鑑賞
講師	森川正明、日野自動車㈱親和会
参加 延べ人数	43人

キ．夏休み！公民館企画 ペットボトルソーラーカーをつくろう

開催日	8月8日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	小学生中学年から高学年（3年生～6年生）を対象に、もの作りの楽しさ、面白さを教えるとともに、環境配慮について考えるきっかけ作りを目的とする。また、受講生どうし異なる学校や異年齢の交流の場とした。
講師	電機連合有志
参加 延べ人数	34人

ク．第二回村山慈明杯争奪将棋大会

開催日	9月7日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	日野市出身のプロ棋士「村山慈明 七段」の冠をつけた大会を実施した。将棋連盟との交渉やルールや運営について打ち合わせ、賞状やトロフィーをどうするのかなど決めなくてはならないことが多くあり困難だった。ただ、初めて市が主催する将棋大会ということで出場したいとの参加者が多く集まり、期待を持たれていることが分かった。

講師	村山 慈明
参加 延べ人数	63人

ケ. 电脑キッズ～レッツ スクラッチ (Let's Scratch!)

開催日	9月14日～9月28日
会 場	PranT
開催回数	全3回
内容他	市内の小学生を対象にコンピュータのプログラミングScratchを体験し、モノづくりの考え方を学ぶ講座で講師は小学校の父兄（PTAメンバー）により実施。
講師	諸星 修
参加 延べ人数	22人

コ. 冬休み書初め講座

開催日	12月26日・12月27日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	書初めをバランスよく、上手に書けるように学ぶ講座。
講師	柴田 雪香
参加 延べ人数	32人

サ. メンタルヘルス「脳をリニューアルしよう」

開催日	2月28日
会 場	日野第一中学校
開催回数	全1回
内容他	先生・親・友達に上手く伝えられなかった時などの感情コントロールの方法を知り、自分なりの対処を考える。また、中学生特有のモヤモヤやイライラはなぜなるのだろうか。発達心理の観点から解き明かし、自己肯定感を高めることを目的とする。
講師	江原 隆子
参加 延べ人数	255人

シ. 春休み小学生集まれ！わくわく学習術

開催日	3月26日・3月27日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全2回【新型コロナウイルス感染症対策により中止】

内容	春休みの小学校3年～6年生を対象に公民館高幡台分室で行う。2日間4回の連続講座①「春のランチとスイーツづくり」「お金のしくみを楽しく学ぼう」「人気のキャラクターを焼き物でつくろう」「リズムに乗って動こう」
講師	悠々散歩クラブほか
参加 延べ人数	—

⑤ 青少年委託事業

ア. 第13回 ひのっ子シェフコンテスト〈委託事業〉

子どもが食えることや食材の大切さを感じることで、食への関心を高め心身共に健康な子どもを育てることを目的とする。また、これに伴い多くの市民にも食の大切さを伝える。

ア) 事業の概要

子どもによる料理コンテストを実施し、金賞、銀賞、銅賞、努力賞、特別賞を決定した。

【対象】市内の小学校に通う小学4年生から6年生の個人若しくはグループ

【料理の条件】日野産野菜を活用（旬の食材）したメニューを、90分以内で4人分を調理する。（予算1,000円以内）

【審査方法】・地場野菜（日野産）の使用度、オリジナリティ（アイデアや工夫）、味、見た目、手際の良さ

【審査員】・審査委員長 鈴木 章生（服部栄養専門学校教授）

・ひのっ子シェフコンテスト実行委員会委員長

白尾 美佳（実践女子大学教授）

・日野市長 大坪 冬彦

・日野市教育委員会教育長 米田 裕治

・子ども審査員（書類審査で落選した児童から選出3人）

【運営】ひのっ子シェフコンテスト実行委員会に委託（事業の企画、運営）して行う。

【事業の成果】本選実施日 11月24日（日）

会場 = 日野第一中学校

応募数 = 38チーム（65人）

本選出場数 = 6チーム（15人）

周知方法 = 7月に案内を市内小学校へ配布

【コンテスト結果】

（金賞）変しん！日野野さいたっぷりクリーム大豆コロッケ

（銀賞及び栄養士と調理員が選んだ特別賞）

Oh! 麦 うまコクひのベジシチュー

(銀賞) やさいたっぷり じゃがりんご

(銅賞及び子ども審査員賞)

おやおや? おやさい! おやおや? おやき!!

(銅賞)・まるごと! 秋の味かくグラタン

・ひのっこ炊き込みごはん

【令和元年度の取り組み】

- ・調理中の様子を生中継し、会場に入ることのできない保護者などが別室で見ることができるようにした。
- ・「栄養士と調理員が選んだ特別賞メニュー」を設けて、平成29年度中に市内各小・中学校で給食メニューとして取り入れた。栄養士や給食調理員（学校課）の協力により、公民館と学校との連携事業として充実を図った。
- ・給食調理員による給食パネル展を行った。
- ・調理時間中、健康課栄養士から参加の児童や保護者等に向けて「野菜350」（野菜を1日350g 食べよう）についてPRを行い、食育についての意識を高めた。

⑥ ひの市民大学

講座の企画・運営の検討から市民とともに行う「ひの市民大学」は、「いつでも どこでも だれもが学べる場」をキャッチフレーズに市民手作りの大学として実施している。

ア. 開講式・記念講演 レオナルド・ダヴィンチ・マジック

「モナ・リザ」と新発見「サルバトールムンディ」の謎

開催日	4月20日
会 場	新町交流センター
開催回数	全1回
内容他	①学長（市長）あいさつ ②ひの市民大学 令和元年度プレゼンテーション ③記念講演
講師	斎藤 陽一
参加 延べ人数	110人

イ. 近代日本の測量

開催日	4月25日～5月30日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回

内容他	①明治黎明期の地図とその記号 ②利便性を増した民間市街地図 ③時刻表地図と広告、地図帳で見る世相 地名命名の原理
講師	今尾 恵介
参加 延べ人数	106人

ウ. 音楽よもやま話 魅惑のムードミュージック

開催日	6月5日～6月19日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回
内容他	①渚のアデリーヌ・夜空のトランペット、他 ②ムーンリバー・白い恋人たち、他 ③急流、他
講師	蓑茂 栄利
参加 延べ人数	70人

エ. 南北朝内乱と新田氏・足利氏

開催日	6月29日・7月6日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	新田義貞 建武政権から南北朝内乱へ 足利尊氏・義直と室町幕府の成立
講師	峰岸 純夫
参加 延べ人数	106人

オ. コソダテにまつわる哲学カフェ

開催日	7月11日・9月20日
会 場	勤労・青年会館
開催回数	全2回
内容他	「哲学カフェ」の力を借りて、日野で子育てするママたちの息抜きと探求と出会いの場を作った。
講師	尾崎 絢子
参加 延べ人数	16人

カ. 夏休み子ども陶芸

開催日	7月23日～8月20日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	①成形 粘土を叩いて鉢をつくる ②成形 お題を決めて、自由作品 ③絵付け ④講評

講師	高木 彩子
参加 延べ人数	61人

キ. 浅川子どもビジネススクール

開催日	7月27日～9月20日
会 場	平山小学校・出口公園
開催回数	全4回
内容他	商店を営む市民から、子ども達が商売とは何かを学び、実際にお祭りの模擬店を出店する体験型の「ビジネススクール」。
講師	大滝 由美、高木 あゆみ、壺井 隆、根津 美満子
参加 延べ人数	15人

ク. コズミックフロント

開催日	8月22日・8月23日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	①日野市発138億光年宇宙の旅 ②大型望遠鏡で観察できるようになってきた『太陽系外』の形成現場
講師	縣 秀彦、武藤 恭之
参加 延べ人数	62人

ケ. 家族で楽しむ紙芝居・見てニッコリ、作ってワクワク

開催日	8月24日
会 場	七生台地区センター
開催回数	全1回
内容他	昔懐かしい街頭紙芝居の実演 はがきサイズのミニ紙芝居を作って発表してもらおうワークショップを実施。
講師	紙芝居使 せんべい
参加 延べ人数	21人

コ. あなたの街の非常食 ―多摩川水系で魚釣り―

開催日	9月7日
-----	------

会 場	平山交流センター・浅川
開催回数	全1回
内容他	突然の災害にコンビニから食べ物がなくなったら？ もしもの時のために、多摩川水系の魚を獲り、食べ方を学ぶサバイバル講座。
講師	増岡 孝
参加 延べ人数	15人

サ．印象派絵画の魅力2

開催日	9月11日～10月2日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全4回
内容他	①ドガ～都市生活へのまなざし～ ②セザンヌ～20世紀絵画への先駆け～ ③ゴッホ～野生への憧れ～ ④ゴッホが憧れた日本～浮世絵との出会いと創造～
講師	斎藤 陽一
参加 延べ人数	250人

シ．五日市憲法の発見から半世紀

開催日	9月14日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	改憲が問題となっている今、自由民権運動の時代に民間で、草案が起草された当憲法について学ぶ。
講師	新井 勝紘
参加 延べ人数	41人

ス．市民のための明治維新論

開催日	9月28日
会 場	多摩平の森ふれあい館
開催回数	全1回
内容他	明治維新から150年。近代日本の原点について、あらゆる著作を引用し自由な発想で論じる。
講師	梅田 正己
参加 延べ人数	54人

セ．おとなのための歴史教室

開催日	11月12日～11月26日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	①日野のから見つかった古墳時代の新発見 ②日野の知られざる大寺院真慈悲寺 ③土方歳三から考える日野の歴史
講師	大石 絵里子、小黒 恵子、高橋 秀之
参加 延べ人数	107人

ソ. 小森陽一先生と読み直す漱石～三四郎～

開催日	11月30日～2月29日
会 場	中央公民館
開催回数	全4回【2.29新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	①三四郎 「第1章～第3章」 ②三四郎 「第4章～第6章」 ③三四郎 「第7章～第10章」 ④三四郎 「第11章～第13章」
講師	小森 陽一
参加 延べ人数	145人

タ. かたちであそぼう

開催日	11月30日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全1回
内容他	様々な形からイメージする幼児教育法「見立て」とデザインの基礎「平面構成」を組合わせた作品制作と、出来上がった作品を見る鑑賞会。
講師	田中 令
参加 延べ人数	15人

チ. アートってなんだろう～アートをビジネスや生活に活かす～

開催日	11月30日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全1回
内容他	様々な画材での制作と対話型鑑賞を通して、アートの本質とビジネスや生活に生かす可能性を探求するワークショップ。
講師	田中 令
参加 延べ人数	11人

ツ．育自のための小さな魔法

開催日	12月7日～2月8日
会 場	勤労青年会館・志學舎
開催回数	全3回
内容他	①人生を語る（過去） ②好きを語る（今） ③未来を語る（未来を創造）
講師	渡邊 さち
参加 延べ人数	10人

テ．第2回浅川子どもビジネススクール

開催日	1月25日・1月26日
会 場	平山交流センター・多摩平第7公園
開催回数	全1回
内容他	普段、子どもたちが学ぶ機会の少ない「お金」についての、上手な付き合い方を学ぶ講座。子どもたちが市民講師からビジネスの基礎を教えていただき、実際に地域イベントに模擬店を出店することで、体験的にビジネスを体験する。
講師	平 美奈子、壺井 隆
参加 延べ人数	13人

ト．折り紙の科学

開催日	2月1日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全1回
内容他	日本発祥の折紙が世界的に研究、利用されていることを知る。
講師	萩原 一郎
参加 延べ人数	57人

ナ．ひの市民大学連携コース（委託事業）

連携：実践女子大学

前期 食の科学

開催日	6月15日～7月13日
会 場	実践女子大学
開催回数	全5回
内容他	①美味しさの科学「五味五法のクッキングテクニック」 ②農産物の生理学「貯蔵すると食品成分はどうなるの」 ③食品の機能性「体によい食品成分とは」 ④食べ物の安全「食べ物の有害成分とは！」 ⑥ 発酵食品の魅力「発酵食品は日本人の健康の源」
講師	佐藤 幸子、奈良 一寛、杉山 靖正、井部 明広、秋田 修

参加 延べ人数	140人
------------	------

後期 健康と栄養

開催日	10月5日～11月30日
会 場	実践女子大学
開催回数	全5回
内容他	①コレステロールと動脈硬化 ②ガンは食事で予防できるのか？ ③「健康食品」は効くのか？ ④小児の食物アレルギー ⑤蛋白質・ミネラル・ビタミンと強い骨
講師	松島 照彦、中村 彰男、山崎 壮、佐々木 溪円、於保 祐子
参加 延べ人数	195人

連携：明星大学

最新の宇宙・気象の科学

開催日	9月14日～10月19日
会 場	明星大学
開催回数	全5回
内容他	①チリも積もれば 赤外線で見える宇宙 ②天気予報はなぜ当たらないのか？ ③宇宙環境で活躍する宇宙構造材料 ④宇宙システム入門「ロケットから小型衛星まで」 ⑤銀河系とその仲間たち「渦巻銀河」
講師	尾中 啓、櫻井 達也、小山 昌志、宮村 典秀、小野寺 幸子
参加 延べ人数	111人

⑦居場所づくり 「ゆる・カフェ・時間（談話室活用事業）」

開催日	4月19日～11月21日
会 場	中央公民館
開催回数	全6回
参加 延べ人数	488人

⑧公民館アウトリーチ事業

ア．実践女子大学連携事業

事業名	アートかるた 言葉集め会
-----	--------------

開催日	1) 10月18日 2) 11月17日
会 場	1) 市民サロン「シモン」 2) 中央公民館
内容他	③ アートかるたの説明 ②アートかるた実施 ③昔の写真を皆がああ懇談 ④アンケート記入
講師	
参加 延べ人数	21人

イ. 大坂上中地区モデル事業

「どなたでも自由自在3色パステルアートを描こう！」

開催日	11月14日～12月12日
会 場	大久保地区センター
開催回数	全3回
内容他	様々な分野の専門家的な知識を持つ市民に講師になってもらい、地域の交流・生きがい作りを促すため地区内の施設で、やはり在住の「3色パステルアート」専門家による連続講座を開催。
講師	加藤 秀美
参加 延べ人数	16人

ウ. 一中地区モデル事業

アート缶バッジつくれます！ in たまカフェ

開催日	11月23日
会 場	特別養護老人ホーム マザアス日野
開催回数	全1回
内容他	地域包括支援センター多摩川苑と共催し、イベント「たまカフェ」において、アート作品を缶バッジにして、自分だけのオリジナルアイテムを創る講座。
講師	中村 由紀子
参加 延べ人数	72人

エ. 三沢中地区モデル事業

「うたごえパーク@百草園」

開催日	12月14日
会 場	落川交流センター
開催回数	全1回

内容他	高幡台分室にて毎月実施している当事業を、出張事業として開催しました。
講師	樋口 周子、小林 晴美、村田 美果、遠藤 頌豆
参加 延べ人数	30人

オ．三中地区モデル事業

「夢が輝く！スカイランタンづくり」

開催日	12月15日
会 場	中央公民館高幡台分室、教育センター校庭
開催回数	全1回
内容他	三中地区に住む若い方のアイディアを公民館事業に取り入れ、地域の方と一緒に発信・展開することで高齢化が進むこの地域を盛り上げていく。
講師	須崎 貴寛
参加 延べ人数	23人

カ．七生中地区モデル事業

「水害等避難計画（マイ・タイムライン）を作ってみよう」

開催日	3月1日
会 場	七生中学校
開催回数	全1日【新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	気象現象の激甚化にともない避難所避難する市民が多くなったため、大雨・台風の避難情報についての個人的な分析と避難行動実施時期や方法について地域の防災リーダーを中心に学ぶ。
講師	市民ボランティア
参加 延べ人数	－

キ．二中・四中地区モデル事業

「星空ツアーに出掛けよう」

開催日	3月25日・3月26日
会 場	あさひがおか児童館・たまだいら児童館
開催回数	全2回【新型コロナウイルス感染症対策により中止】
内容他	地球上には、日本では及びもつかない大自然に溢れていることを紹介してもらい、自然の豊かさを標榜する当市の自然環境にも興味を抱いてもらう。
講師	村山 孝一
参加 延べ人数	－

⑨ 障害者事業

ア. 少年学級 <委託事業>

市内の特別支援教育を受けている小・中学生を対象に、月一回定例会を実施し、ボランティアと一緒に遊び、学んでいる。また、第1土曜日（年6回）には、リトミック教室を開催。運営は、「日野市少年学級親の会」。ボランティアは、近隣大学のボランティアサークルが中心となり、活動に参加している。

ア) 委託先 日野市少年学級親の会 会長 斉野 美紀

イ) 委託料 1,503,360円

ウ) 運 営 日野市少年学級親の会

会長 斉野 美紀

副会長 麻野 綾 五十川 真紀

会計 小幡 さやか 服部 有貴子

書記 吉泉 彩織 伊野波 千春

会計監査 清川 宏美

エ) リトミック教室活動内容

開催日	4月6日～11月2日 午前10時～正午
会 場	中央公民館
開催回数	全6回
講師	山崎 詩奈子
参加 延べ人数	87人

オ) 定例会活動内容

月 日	内 容	会 場	参加 人数
4月21日	こあらんど	中央公民館高幡台分室	71
4月23日	総会	中央公民館高幡台分室	18
5月12日	開級式	中央公民館高幡台分室	112
6月16日	みんなの遊・友ランド	市民の森ふれあいホール	98
7月4日	合宿説明会	中央公民館高幡台分室	14
8月23日 ～24日	合宿	大成荘（山梨県）ほか	71
9月8日	ボウリング大会	立川スターレーン	79
10月13日	運動会（中止）	中央公民館高幡台分室	－
11月17日	サッカー教室	中央公民館高幡台分室	78
12月8日	クリスマス会	中央公民館高幡台分室	111
1月31日	リトミック懇談会	中央公民館	20
2月9日	豆腐作り教室	中央公民館高幡台分室	91
3月26日	バスハイク（中止）	東京ディズニーシー	－

イ. 青年・成人学級 <委託事業>

青年・成人学級は「健康な青年と触れ合う場所が欲しい」という障害を持った青年達の願いを実現するために、昭和50年に「日野市障害者青年学級」として誕生した。スローガンとして「ともに生き、ともに学ぶ」を掲げ、地域に根ざした活動を続け、現在に至る。

この学級の特色は、16歳以上の障害を持つ青年も持たない青年も一緒になって、自分達の学級の企画・運営を行っている点にある。現在さまざまな障害を持った青年達と学生や社会人など多彩な青年達が、定例会と分科会に参加し活動している。

平成5年度から地域で生活する成人期の障害者を対象に、衣食住働などを学習する分科会「生活を考える」が始まり、平成9年度には成人講座として交流中心の青年学級とは別に活動するようになる。対象は25歳以上の希望者で、地域での生活についてさまざまな問題を学習する場を提供し、生き生きと暮らす力を学ぶことを意識してプログラムを組んでいる。平成12年度より、成人講座から成人学級へ変更し、平成28年度から団体名も新しく「日野市青年・成人学級」となり、積極的な活動を続けている。

ア) 委託先 日野市障害者青年・成人学級仲間の会 代表 木村 美子

イ) 委託料 2,613,000円

ウ) 運 営 青年・成人学級運営委員会役員

青年学級担当 運営委員長 山本 詩織

会 計 長谷川 千夏

成人学級担当 熊谷 亜由美

各学級の各定例会の前に運営委員会を開き、企画・準備を行った。

エ) 青年学級定例会活動内容

開催日	内 容	会 場	参加人数
5月26日	開級式	中央公民館	46
6月16日	サッカー教室、キャンドル作り	中央公民館	43
7月21日	合宿説明会	中央公民館	45
8月 3日 ～4日	夏合宿	八ヶ岳高原大成荘	65
9月8日	新町交流センター	大運動会	38
10月20日	ハロウィーンパーティー	中央公民館	49
11月24日	遠足	カップヌードルミュージアム	58

開催日	内 容	会 場	参加 人数
12月15日	クリスマス会	中央公民館	50
1月19日	新春お楽しみ会	市民会館小ホール	45
2月16日	料理教室	中央公民館	64
3月15日	修了式（コロナウイルス中止）	中央公民館	0

11回 延べ503人

オ) 成人学級活動内容

開催日	内 容	会 場	参加 人数
5月26日	開級式	中央公民館	13
6月16日	高幡不動あじさいまつり見物	高幡不動尊	10
7月7日	ユニバーサルスポーツ	市民の森ふれあいホール	9
8月4日	カラオケ	まねきねこ	14
9月1日	ボウリング	SAP日野	11
10月6日	社会見学	昭和記念公園	13
11月10日	調理実習	中央公民館高幡台分室	10
12月7日 ～8日	合宿	千葉県鴨川市	9
1月19日	新春おたのしみ会	市民会館 小ホール	10
2月2日	新年会	サカエヤ茶楼	9
3月15日	修了式（コロナウイルス中止）	中央公民館	0

11回 延べ108人

カ) 分科会活動内容

A. ワープロ

開催日	4月～3月 第2・4金曜日 午後7時～8時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全21回
講師	栗原 亜希子 ほか
参加 延べ人数	54人【2月、3月 コロナウイルス感染防止のため延期】

B. 料理

開催日	6月～3月 第2土曜日 午前10時～午後0時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全7回（6月・7月・9月・10月・11月・1月・2月）
講師	鈴木 直美
参加 延べ人数	90人

C. リズム体操

開催日	6月～3月 第4日曜日 午後1時30分～2時30分
会 場	中央公民館、市民の森ふれあいホール
開催回数	全6回 (6月・8月・9月・10月・1月・2月)
講師	前田 致加子
参加 延べ人数	87人

D. コーラス

開催日	6月～3月 第4土曜日 午後1時30分～2時30分
会 場	中央公民館、市民会館小ホール
開催回数	全9回 (6月・7月・9月・10月・11月・1月〈2回〉・2月・3月)
講師	樋口 周子
参加 延べ人数	66人【3月 コロナウイルス感染防止のため延期】

E. パンづくり

開催日	7月～11月 毎月土曜日 午後1時30分～2時30分
会 場	多摩平の森ふれあい館
開催回数	全5回 (7月・8月・9月・10月・11月)
講師	富本 法子
参加人数	39人

2 公民館利用状況

(1) 中央公民館

① 目的別利用数（年間）

公民館事業または 中央公民館使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1,343	15,906	2,385	19,367	144	1,395	92	1,256	0	0	3,964	37,924

※ 陶芸窯利用 27 回 登録団体 6 サークル

② 目的別利用数（月別）

月	公民館事業または 中央公民館使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	74	717	229	2,004	8	131	0	0	0	0	311	2,852
5	232	4,246	165	1,352	7	71	0	0	0	0	404	5,669
6	80	1,027	239	2,137	18	179	8	321	0	0	345	3,664
7	123	1,108	208	1,937	12	118	8	87	0	0	351	3,250
8	144	924	162	1,325	12	123	4	39	0	0	322	2,411
9	95	1,058	224	1,883	13	102	18	238	0	0	350	3,281
10	95	889	240	1,961	9	47	3	35	0	0	347	2,932

11	135	1,478	176	1,543	8	109	39	330	0	0	358	3,460
12	140	1,776	177	1,498	15	89	5	69	0	0	337	3,432
1	112	1,694	206	1,685	25	247	4	60	0	0	347	3,686
2	104	968	220	1,765	16	179	3	77	0	0	343	2,989
3	9	21	139	277	1	0	0	0	0	0	149	298
計	1,343	15,906	2,385	19,367	144	1,395	92	1,256	0	0	3,964	37,924

③ 部屋別利用率（月別）

月	区分	講座室 A	講座室 B	視聴覚室	調理実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
4	午前	66.7	66.7	66.7	54.2	41.7	100.0	75.0	54.2
	午後	66.7	70.8	87.5	45.8	62.5	87.5	79.2	12.5
	夜間	50.0	33.3	41.7	12.5	16.7	62.5	58.3	8.3
5	午前	86.4	81.8	100.0	90.9	81.8	95.5	86.4	86.4
	午後	86.4	86.4	81.8	81.8	86.4	95.5	81.8	59.1
	夜間	72.7	45.5	59.1	59.1	68.2	59.1	68.2	36.4
6	午前	57.7	69.2	80.8	53.8	57.7	88.5	61.5	53.8
	午後	69.2	73.1	80.8	42.3	57.7	84.6	65.4	30.8
	夜間	57.7	42.3	42.3	7.7	15.4	65.4	69.2	0.0
7	午前	69.2	73.1	80.8	50.0	65.4	88.5	69.2	65.4
	午後	73.1	76.9	73.1	46.2	76.9	92.3	57.7	30.8
	夜間	38.5	26.9	34.6	11.5	15.4	65.4	65.4	7.7
8	午前	42.3	57.7	69.2	50.0	42.3	80.8	69.2	30.8
	午後	76.9	80.8	73.1	46.2	50.0	84.6	61.5	30.8
	夜間	38.5	23.1	42.3	34.6	15.4	73.1	53.8	11.5
9	午前	68.0	52.0	76.0	52.0	68.0	88.0	80.0	56.0
	午後	80.0	88.0	88.0	36.0	52.0	88.0	76.0	36.0
	夜間	44.0	44.0	52.0	8.0	24.0	56.0	76.0	12.0
10	午前	57.7	61.5	84.6	73.1	53.8	88.5	76.9	61.5
	午後	73.1	76.9	69.2	46.2	38.5	84.6	73.1	15.4
	夜間	53.8	46.2	46.2	11.5	19.2	53.8	76.9	3.8
11	午前	58.3	54.2	87.5	79.2	70.8	95.8	70.8	66.7
	午後	79.2	70.8	91.7	66.7	54.2	91.7	83.3	41.7
	夜間	54.2	50.0	50.0	20.8	33.3	58.3	54.2	8.3
12	午前	70.8	54.2	75.0	70.8	37.5	87.5	79.2	54.2
	午後	95.8	83.3	83.3	79.2	50.0	79.2	83.3	41.7
	夜間	29.2	25.0	33.3	16.7	16.7	66.7	83.3	8.3
1	午前	83.3	79.2	83.3	58.3	66.7	87.5	75.0	50.0
	午後	87.5	79.2	87.5	37.5	50.0	91.7	95.8	33.3
	夜間	54.2	41.7	37.5	8.3	20.8	54.2	66.7	16.7
2	午前	91.3	73.9	91.3	60.9	69.6	95.7	82.6	56.5
	午後	91.3	91.3	82.6	34.8	65.2	78.3	69.6	39.1
	夜間	43.5	26.1	60.9	8.7	13.0	65.2	69.6	26.1
3	午前	16.0	12.0	8.0	4.0	4.0	4.0	8.0	4.0
	午後	24.0	20.0	16.0	0.0	4.0	20.0	8.0	8.0

月	区分	講座室 A	講座室B	視聴覚室	調理実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
	夜間	4.0	4.0	8.0	0.0	0.0	4.0	8.0	8.0
年間 計	午前	63.4	61.0	74.9	57.6	54.6	83.1	69.2	52.9
	午後	74.9	74.6	75.9	46.4	53.6	81.4	69.2	31.2
	夜間	44.7	33.9	42.0	16.3	21.0	56.9	62.4	11.9

(使用日数／開館日数＝%)

(2)中央公民館高幡台分室

① 目的別利用数 (年間)

公民館事業または中央公民館高幡台分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
346	3,709	1,901	17,829	237	1,581	237	2,398	42	516	2,763	26,033

※陶芸窯利用 24 回 登録団体 6 サークル

② 目的別利用数 (月別)

月	公民館事業または中央公民館高幡台分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	26	328	170	1,582	24	134	30	106	8	120	258	2,270
5	18	204	166	1,508	19	115	19	227	6	73	228	2,127
6	21	217	174	1,593	25	184	29	249	6	80	255	2,323
7	23	247	169	1,679	24	137	23	385	1	9	240	2,457
8	62	93	154	1,547	20	111	33	270	1	8	270	2,029
9	18	231	180	1,671	25	147	12	74	1	9	236	2,132
10	80	350	155	1,527	18	127	7	43	1	9	261	2,056
11	33	771	185	1,692	16	119	11	128	5	100	250	2810
12	23	712	167	1,568	22	188	19	132	1	9	232	2,609
1	13	134	172	1,598	20	161	31	328	2	21	238	2,242
2	27	417	180	1,657	22	158	23	456	7	67	259	2,755
3	2	5	29	207	2	0	0	0	3	11	36	223
計	346	3,709	1,901	17,829	237	1,581	237	2,398	42	516	2,763	26,033

③ 部屋別利用率 (月別)

月	区分	実習室	和室	講座室1	講座室2	講座室3	講座室4	講座室5	講座室6
4	午前	41.7	75.0	83.3	54.2	58.3	83.3	75.0	66.7
	午後	37.5	29.2	66.7	66.7	54.2	58.3	79.2	45.8
	夜間	8.3	16.7	20.8	4.2	20.8	16.7	8.3	4.2
5	午前	40.9	77.3	72.7	72.7	72.7	72.7	77.3	40.9

	午後	31.8	27.3	77.3	63.6	63.6	54.5	86.4	31.8
	夜間	0.0	13.6	13.6	4.5	27.3	4.5	9.1	0.0
6	午前	30.8	88.5	73.1	61.5	46.2	57.7	73.1	38.5
	午後	38.5	46.2	76.9	61.5	57.7	50.0	73.1	42.3
	夜間	0.0	30.8	15.4	0.0	19.2	0.0	0.0	0.0
7	午前	42.3	80.8	73.1	46.2	50.0	65.4	69.2	38.5
	午後	34.6	34.6	73.1	57.7	46.2	46.2	69.2	42.3
	夜間	0.0	19.2	11.5	0.0	19.2	3.8	0.0	0.0
8	午前	33.3	66.7	66.7	40.7	37.0	51.9	88.9	51.9
	午後	22.2	40.7	74.1	48.1	37.0	63.0	96.3	51.9
	夜間	7.4	33.3	22.2	7.4	14.8	14.8	14.8	14.8
9	午前	44.0	80.0	72.0	36.0	60.0	56.0	64.0	48.0
	午後	32.0	32.0	64.0	52.0	52.0	48.0	68.0	44.0
	夜間	0.0	20.0	16.0	0.0	40.0	4.0	4.0	8.0
10	午前	50.0	76.9	76.9	38.5	42.3	50.0	73.1	46.2
	午後	38.5	30.8	84.6	50.0	61.5	42.3	73.1	30.8
	夜間	11.5	19.2	30.8	7.7	26.9	19.2	11.5	11.5
11	午前	50.0	79.2	83.3	62.5	54.2	54.2	70.8	45.8
	午後	50.0	45.8	83.3	58.3	58.3	54.2	75.0	25.0
	夜間	0.0	29.2	16.7	0.0	25.0	20.8	0.0	0.0
12	午前	41.7	70.8	70.8	62.5	50.0	54.2	70.8	41.7
	午後	25.0	45.8	66.7	58.3	58.3	50.0	75.0	41.7
	夜間	0.0	29.2	25.0	0.0	8.3	12.5	0.0	8.3
1	午前	45.8	70.8	79.2	50.0	45.8	58.3	70.8	37.5
	午後	33.3	45.8	70.8	58.3	62.5	45.8	79.2	33.3
	夜間	8.3	33.3	16.7	0.0	20.8	12.5	4.2	8.3
2	午前	47.8	82.6	78.3	65.2	52.2	60.9	78.3	43.5
	午後	34.8	60.9	78.3	69.6	47.8	47.8	82.6	52.2
	夜間	4.3	39.1	17.4	0.0	43.5	26.1	8.7	4.3
3	午前	0.0	8.0	8.0	16.0	12.0	8.0	4.0	8.0
	午後	0.0	20.0	4.0	12.0	8.0	0.0	8.0	4.0
	夜間	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	0.0
年間計	午前	38.9	71.3	69.6	50.0	48.0	55.7	67.9	42.2
	午後	31.4	38.2	68.2	54.4	50.3	46.6	72.0	37.2
	夜間	3.4	25.0	17.2	2.0	22.0	11.5	5.4	5.1

(使用日数／開館日数＝%)

3 第32回公民館まつり

第32回の公民館まつりは、「出会い ふれあい 学び合い」をテーマに、5月18日、19日の両日に催された。日ごろ中央公民館を中心に活動している各団体・サークルが、一年間の活動の成果を、作品の展示、音楽演奏、舞台、模擬店や体験コーナーを通して発表し、広く市民の皆さんに楽しんでいただくことができた。

■参加者 延べ3,000人

会 場		5月18日（土） 10：00～16：00	5月19日（日） 10：00～16：00
	実習室	喫茶コーナ	
	ホール	人形劇、サクソフフォン	マンドリン、朗読、

	講座室	フルート・オカリナ、二胡、ウクレレ、女声コーラス、管弦楽	リコーダー、ウクレレ、ギター、合同ハーモニカ、少年少女合唱団、バラエティサロン
	視聴覚室	切り絵作品展示（体験）、絵手紙作品展示（体験）	
	小会議室	手打ちうどん実演・販売	手打ちそば実演・販売
中央福祉センター	2階廊下	地域活動展示	
	集会室1、2	陶芸、木彫、手編み、活動展、写真など作品展示	
	福祉講座	水墨画作品展示（体験）	
	集会室3	ステンドグラス作品展示	
	健康相談	デジタル写真	
公民館前広場		開会式、日野囃子、インドネシア舞踊、日野市舞踊、剣術演武	日野囃子、日野市舞踊、サンバ、軽音楽、バラエティサロン
		各種模擬店、鉄道模型実演、作品販売、バザー、おもちゃ修理、刃物砥ぎ、縁台将棋、陶芸体験・作品販売、ねこの里親、親子手作り体験、受付及び本部 パン、日野産野菜、薔薇など販売	
児童館前広場		ひの児童館まつり	

■来場者3,000人 ■参加、応援・協力サークル 46団体

■主催 公民館まつり実行委員会

4 第15回中央公民館高幡台分室まつり

市内程久保地区に、平成16年4月に公民館事業を運営する恒常的な拠点として高幡台分室が開設された。多くのサークルが登録し、それぞれの学習を通して地域の振興に努めている。

高幡台分室まつりは高幡台分室及び教育センター体育館を会場として、高幡台分室を中心に活動しているサークルが、一年間の活動の成果を、展示、舞台、模擬店や体験コーナーを通して発表し、広く市民の皆さんに楽しんでいただくことができた。

■来場者500人

開催日	10月27日（日）※前日展示あり
時 間	10：00～15：00
展 示	俳句作品、版画、ハワイアンキルト、陶芸、歴史資料、鉄道模型、書道
ステージ	まつり囃子、ギター、尺八、一輪車、朗読、弦楽合奏
体 験	ヨガ、香道、子ども工作
模擬店	カレーライス、そば、うどん、フランクフルト、クッキー、コーヒー、紅茶、野菜の販売、手芸作品など

■主催 公民館高幡台分室まつり実行委員会

5 第23回ひのアートフェスティバル

ひのアートフェスティバルは、市民が集う手作りの芸術祭で、平成9年度から「地

域文化の振興」と「身近なところで芸術を享受しよう」という趣旨で開催されている。今回は23回目を迎え、8月17日・18日の両日に仲田の森蚕糸公園を舞台に開催した。ステージ部門では老若男女を問わず熱気あふれる演奏で盛りあがった。フリーマーケットやクラフト出店などで賑い、模擬店では環境に優しいリユース食器を使った。

■参加者 延べ5,700人

開催日	8月17日（土） 10:00～20:00	8月18日（日） 10:00～19:00
ステージ	日野第一中学校 吹奏楽部 川田智規ジャズトリオ THE SHOW-WA アンヌール アラ・アッソ・ココ みーくん C. V. A いにしえいしょんず 高雄 文 CHOCOCHIP MAGNUM 53's リ・リンダ ひの坂かりんとう（公民館事業）	ざぶとんず マトリョミンアンサンブル「ウ リープ カ」 S-BLOOD Apple Jack & Friends Sugar-mans KAROL ドワタコモ あお ザ・カズン まったりフッカー THE BEATLESS タマ・ドリーム・ジャズ・オー ケストラ
手作り 広場など	ワンニャン大行進、ミニチュアガーデン、カラフルふくろう、牛乳 ウォッチ、アートラリー、森のお絵かき屋さん	
模擬店、フリーマーケット、クラフト出店		

■主催 ひの아트フェスティバル実行委員会・中央公民館

6 公民館音楽サークルの集い～秋フェス3

中央公民館で活動する音楽サークルには、日頃交流する場がなかったため、お互いに楽しみながら交流を深める場づくりとして初めて開催した。各音楽サークルが互いの演奏発表を鑑賞し合い、交流を深めることができた。

開催日	11月16日（土）（全1日）
会場	中央公民館
出演者	各公民館登録音楽サークル
参加人数	223人

7 パネル・ショーケース展示状況

中央公民館の談話室内にあるパネル・ショーケースは、公民館を利用する自主グループ等が日頃の活動成果の作品を展示し、発表する場となっている。また、公民館を訪れる方々に対し、広く社会教育活動への関心を与えている。

展示団体・内容

楽しいデジカメクラブ（写真）、ひの切り絵サークル（切り絵）、きつつき会（木彫り）、アクリエ会（アクリル画）、仲田小学校PTA（絵封筒）、手編みの会ひつじ（あみもの）、中央公民館（アートかるた・ハロウィーン・つるし雛）

8 公民館保育室

昭和60年度に開設し、専用保育室による保育は平成3年度から始まる。対象は市内在住の1歳6カ月から就学前までの幼児で、公民館主催事業の参加者または年間保育登録をしているグループに保育援助をしている。

親たちが学習・活動をしている間、子どもたちは公民館保育者とともに保育室で過ごしている。天気のよい日には近くの公園にも出かけ、年齢の違う子どもたちとの遊びの中で、思いやりや協力の心も生まれている。親も子も学ぶ機会として「親・保育者・職員」のコミュニケーションを図っている。

公民館保育室の利用状況 保育援助認定グループ

団 体 名	利用回数	利用延人数
ママのポケット(手芸)	11	33
はだかんぼう（調理）	16	103
ゆるゆる手作りの会（手芸）	24	44
いるか（子育て学習）	7	16
ACT（子育て学習）	11	24
子どもへのまなざしママ会（子育て学習）	9	11
NP（子育て学習）	15	29
ハモレレ	11	46
さくらパーク	7	10
外国人のための日本語教室（委託事業）	108	2,991
保育付き講座	14	42
計	233（回）	3,349（人）

※合同保育を含む 保育援助は事前申込制で、1歳6カ月から就学前まで

9 公民館だより

編集は市民委員の協力により行われている。公民館の活動や事業を紹介するとともに、地域への関心を高めていくことを目的としている。年4回発行。A3サイズ2つ折り全4ページで、市内の主な公共施設等で配布している。

号 (発行日)	仕 様	主 な 内 容
第160号 (6. 20)	A3判二つ折り 4ページ単色刷り 各回2,000部	・日野の風景「仲田の森蚕糸公園」 ・サークルの仲間たち「朗読サークルうづき」 ・平成31年度 ひの市民大学開講式・開講記念講演会 ・公民館まつりを見学して ・公民館運営審議会からの答申を受けて ほか
第161号 (9. 29) ※カラー版		・サークルの仲間たち「ハモレレ」 ・日野の風景「百草の文化財を歩く」 ・今年も日野市中央公民館平和事業「8月に何があった～次の世代に伝える戦争と平和」が行われました ・第23回 ひのアートフェスティバル ほか
第162号 (12. 20)		・サークルの仲間たち「エッセイを書く会」 ・日野の風景「高幡界限ー今・昔ー」 ・第15回高幡台分室まつり ・秋フェス3 ～音楽サークルの集い～ ・公民館運営審議会からの報告 ほか
第163号 (3. 21) ※カラー版		・南平に田んぼができました 公民館事業「田んぼの学校」 ・サークルの仲間たち「日野二胡サークル」 ・第2回公民館サークル連絡会が行われました ・第13回 ひのっ子シェフコンテストが開催されました ・コラム「ねこの足跡」 ほか

○日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日

制定

(目的)

第1条 この要綱は、社会教育法(昭和24年法律第207号)第32条に規定する、公民館の運営の状況に関する評価等の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市中央公民館(以下「公民館」という。)は、毎年1回、公民館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 公民館は、公民館運営審議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 公民館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 公民館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 公民館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、公民館管理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、公民館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

第 27 期公民館運営審議会委員名簿

委員長	宮崎 竹子	社会教育の関係者
副委員長	丹間 康仁	学識経験者
委員	畔上 栄輔	公募による市民
委員	宇賀神 宏	社会教育の関係者
委員	須崎 奈緒美	公募による市民
委員	松永 式子	学校教育の関係者（H31. 4. 1～）
委員	今尾 恵介	学識経験者
委員	南雲 成二	学識経験者
委員	樋口 周子	社会教育の関係者
委員	杉本 英二	家庭教育の向上に資する活動を行う者
任期	自 平成 30 年 7 月 1 日	
	至 令和 2 年 6 月 30 日	

《参考》平成 30 年度 令和元年度 講座等参加人数

	平成30年度	令和元年度
成人事業	6,489	5,721
講座	2,102	1,416
バラエティサロン	288	336
公民館映画会	282	280
委託・公民館平和事業	201	208
委託・外国人のための日本語教室	3,322	2,991
委託・田んぼの学校	294	490
高齢者事業	663	723
講座	663	723
青少年事業	641	1,194
講座	545	1,129
委託・ひのっ子シェフコンテスト	96	65
市民大学	2,330	1,731
講座	1,833	1,285
委託	497	446
障害者事業	2,224	1,797
委託・少年学級	1,087	850
委託・障害者青年・成人学級	1,137	947
イベント	9,966	9,511
公民館まつり	3,000	3,000
分室まつり	600	500
ひのアートフェスティバル	6,200	5,700
秋フェス(サークル交流会)	166	311
居場所づくり	485	488
ゆる・カフェ・時間(談話室活用)	485	488
公民館アウトリーチ事業	77	162
総計	22,875	21,327

令和２年度
日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書
(令和元年度事業)

令和２年９月
日野市中央公民館

〒191-0011
東京都日野市日野本町七丁目５番地の２３
電話 ０４２-５８１-７５８０ ファクス ０４２-５８１-２１１０